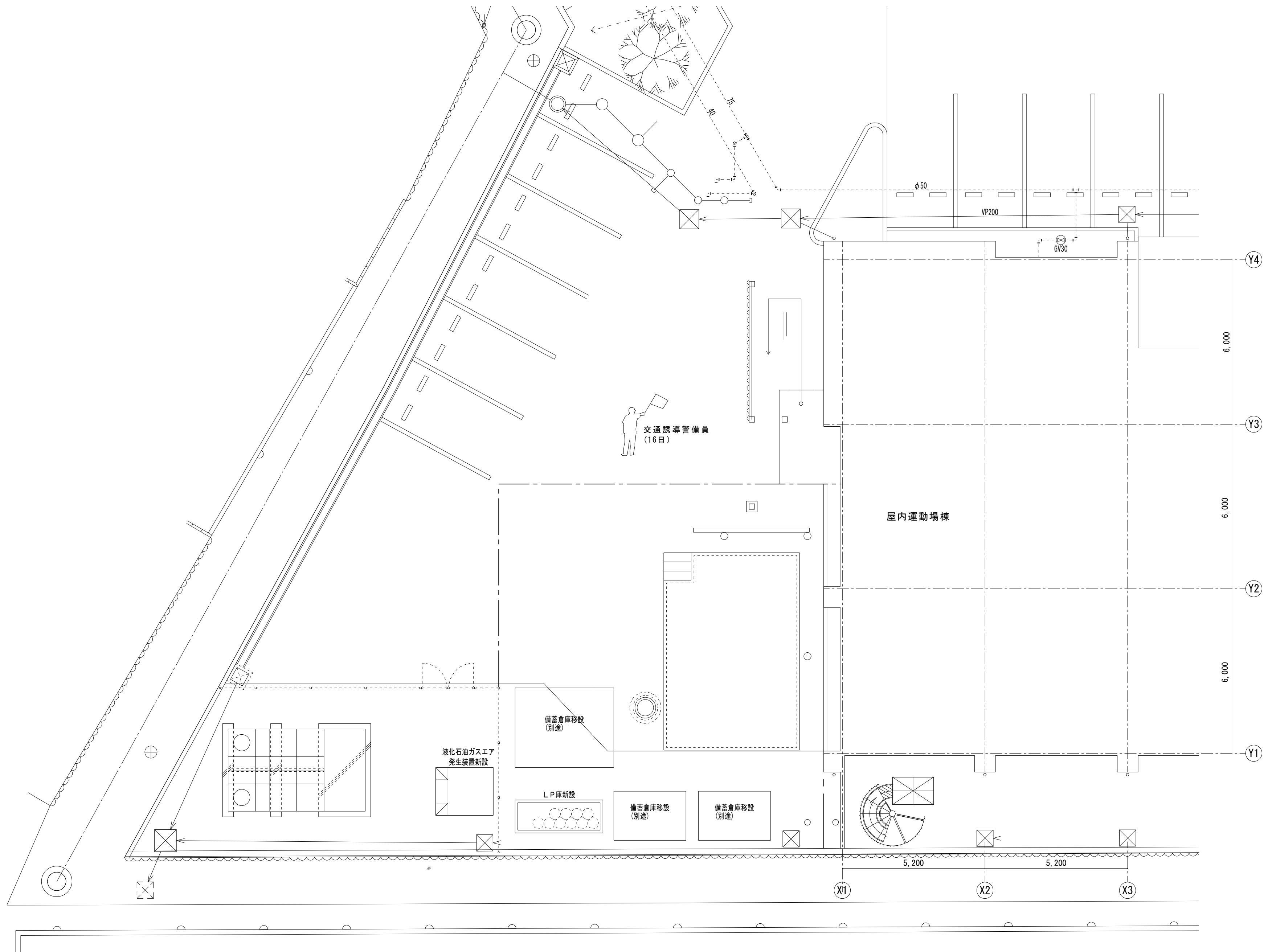


建築工事 仕様書		項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項	項 目	特 記 事 項																																																																																						
章 1 章 一 般 共 通 事 項	1. 適用基準等	<p>◎図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官庁官庁営繕部監修の下記による。 ①公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版(以下「改標仕」という。) ②公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)(以下「標仕」という。) ◎施工条件は次による。 ・生徒の安全面、工程については、施設管理者と協議の上、決定すること。 ・その他の詳細な施工条件については、実施工程表及び総合施工計画書の作成時に施設管理者と協議の上決定し、適宜相互に日程の調整及び確認を行う。</p> <p>◎交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、16日間配置すること。 ・本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が〔義務付けられている・〔義務付けられていない〕〕。 ・警備員は、延16人(昼16人)を見込んでいる。 ・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。 ・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。 ・受注者は、発注者が行う交通誘導警備員勤務実績調査の実施に協力しなければならない。また、対象工事の一部について下請負契約を締結する場合は、当該下請負工事の受注者(当該下請負工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)も同様の義務を負う旨を定めなければならない。 ・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。</p>	章 3 章 軀 体 工 事 (3) (鉄 筋 工 事)	1. 材料	<table border="1"> <thead> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JIS G 3112</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>SD295A SD345</td> <td>D16以下 D19以上</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3551</td> <td>溶接金網及び鉄筋格子</td> <td>網目の形状：100×100</td> <td>径：φ6</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎材料試験は行わない。 ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。</p> <p>◎鉄筋の継手は〔<b>重ね継手 (D16以下)</b>〕・ガス圧接継手・特殊継手)とする。</p> <p>◎鉄筋の継手の位置は図示による。</p> <p>◎結束線の端部は内側に折り曲げる。</p> <p>◎スラブのスペーサーは鋼製を原則とし、他の箇所についても材種等について監督員の承諾を得ること。また、鋼製のスペーサーは、型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。</p> <p>◎鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による。</p> <p>◎鉄筋の定着方法及び長さは図示による。</p> <p>◎目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。</p> <p>◎各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、標仕参考図〔1節ー基礎及び基礎梁の配筋〕～〔7節ー梁貫通孔その他配筋〕による。</p> <p>◎主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。</p>	規格番号	規格名称	種類の記号	径(mm)	JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A SD345	D16以下 D19以上	—	建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋	—	—	JIS G 3551	溶接金網及び鉄筋格子	網目の形状：100×100	径：φ6	4. 打継ぎの位置 ひび割れ誘発目地 打継ぎ目地	◎コンクリートの打継ぎ目地の寸法は、標仕9.7.3〔目地寸法〕(1)(ア)による。 ◎ひび割れ誘発目地の位置(・図示による(・))																																																																						
	規格番号	規格名称		種類の記号	径(mm)																																																																																								
JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A SD345	D16以下 D19以上																																																																																										
—	建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋	—	—																																																																																										
JIS G 3551	溶接金網及び鉄筋格子	網目の形状：100×100	径：φ6																																																																																										
5. レディミクストコンクリート 工場の指定	◎工事開始に先立ち、工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。	6. 型枠	◎型枠は、(県産木製型枠・〔 <b>合板</b> 〕・金属製・樹脂系・打込み型枠・ブロック)とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>型枠の種別</th> <th>仕上げ種別</th> <th>塗装の有無</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県産木製型枠</td> <td>—</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6.9.3 (b) (1)</td> <td>A種</td> <td>あり</td> <td>日本農林規格</td> <td>12mm</td> <td>打ち直し仕上げ面</td> </tr> <tr> <td>6.9.3 (b) (2)</td> <td>普通型枠</td> <td>なし</td> <td>日本農林規格</td> <td>12mm</td> <td>上記以外</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎スリーブの材種(標仕6.8.3(i)(2)、標仕表6.8.1)</p> <p>◎無筋コンクリートは、次の場合に適用する。 ・捨コンクリート</p>	型枠の種別	仕上げ種別	塗装の有無	材質	厚さ	適用箇所	県産木製型枠	—	なし	—	—		6.9.3 (b) (1)	A種	あり	日本農林規格	12mm	打ち直し仕上げ面	6.9.3 (b) (2)	普通型枠	なし	日本農林規格	12mm	上記以外	7. 無筋コンクリート																																																																	
型枠の種別	仕上げ種別	塗装の有無	材質	厚さ	適用箇所																																																																																								
県産木製型枠	—	なし	—	—																																																																																									
6.9.3 (b) (1)	A種	あり	日本農林規格	12mm	打ち直し仕上げ面																																																																																								
6.9.3 (b) (2)	普通型枠	なし	日本農林規格	12mm	上記以外																																																																																								
章 2 章 改 修 仮 設 工 事	1. 一般事項 2. 足場等	<p>◎着工に先立ち、敷地境界、既存構造物及び地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況確認を行うこと。</p> <p>◎仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準(以下「規格等」という。)に適合するものを使用すること。 ①労働安全衛生法に基づく構造規格 ②(社)仮設工業会の認定基準 また、厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」のに基づく(社)仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承諾を得ること。</p> <p>◎労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等(組立から解体までの期間が60日未満を除く)の設置や移転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。 届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。 届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。</p> <p>◎労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に関わらず、足場を設置する場合は、使用開始前に営繕課指定の足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること。</p> <p>◎受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。</p> <p>◎内部足場(種類：脚立足場)</p> <p>◎仮囲いを設置する場合は、設置後に「営繕課発注現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。</p> <p>◎仮囲い(仕様：ガラス・フェンス、H=1.2m、L=23m)(図示)</p>	章 3 章 軀 体 工 事 (4) コン ク リ ー ト 工 事	4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	◎目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。	章 4 章 内 装 改 修 工 事	1. 一般事項 2. 撤去並びに下地補修	◎工事に先立ち、改修部分の隠蔽部の調査を行い、設計図書と照合し、支障があった場合は、速やかに監督員に報告し、指示を受けること。 ◎各部の撤去により、下地及び構造体にひび割れ及び欠陥部が発見された場合は、速やかに監督員に報告し指示を受けること。 ◎各改修工事の仕様は、仕様・仕上げ表による。 ①床改修 ・既設床仕上げ材の除去 改標仕6.2.2(a)参照 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>撤去工法</th> <th>撤去範囲</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビニール床シート</td> <td rowspan="2">改標仕6.2.2(a)(1)による</td> <td rowspan="2">全面・一部(図示)</td> <td rowspan="2">また、木床組の場合、撤去範囲を記入部分的な不良箇所に対する指示を記入。</td> </tr> <tr> <td>ゴム系床タイル</td> </tr> <tr> <td>フロリング張床</td> <td>改標仕6.2.2(a)(3)</td> <td>同 上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床タイル</td> <td>改標仕6.2.2(a)(4)</td> <td>同 上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床組</td> <td>改標仕6.2.2(a)(5)</td> <td>同 上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・コンクリート又はモルタル面の下地処理 改標仕6.2.2(b)参照  <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地の状況</th> <th>下地処理方法</th> <th>備 考 欄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>凹凸部処理</td> <td>サンダー掛け ポリマーセメントモルタル エポキシ樹脂モルタル</td> <td rowspan="2">合成樹脂床の場合</td> </tr> <tr> <td>欠損部 下地モルタル撤去部</td> <td>モルタルで補修し乾燥後 デッキブラシ等で清掃</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎改修後の床の清掃範囲は図示する。 ②壁改修 ・コンクリート間仕切り壁 改標仕6.3.2(a)参照 ・間仕切り壁撤去に伴う構造体の補修 モルタル塗り ※施工場所は図示による。 塗り厚25mm超の場合の補修を(行う・行わない)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械等の区分</th> <th>既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>油圧クラッシャー使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ダイヤモンドカッター使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンドブレーカー使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アグレッシブウォータージェット使用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・木製及び軽量鉄骨間仕切り壁 改標仕6.3.2(b)、(c)及び(d)参照  <table border="1"> <thead> <tr> <th>撤 去 区 分</th> <th>既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>壁下地を含む全面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボード面まで</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボード面を残し仕上げのみ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③天井改修 改標仕6.4.2参照  <table border="1"> <thead> <tr> <th>撤 去 区 分</th> <th>既存壁取合の補修範囲及び内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天井下地を含む全面</td> <td rowspan="3">照明器具等による補強が必要な場合は、その内容も記入</td> </tr> <tr> <td>ボード面まで</td> </tr> <tr> <td>ボード面を残し仕上げのみ</td> </tr> </tbody> </table> <p>・既存天井面に直接新たな仕上げ材を張付ける。 ・既存天井塗装仕上げ面を塗替を行う。</p> <p>◎工事現場搬入時の含水率は〔<b>A</b>〕・<b>B</b>〕種とする。</p> <p>◎木材の品質 ・保存処理木材は、日本農林規格に規定する保存処理の処理区分のうち、K2からK4までの保存処理(JIS K 1570)(木材保存剤)に規定する木材保存剤(ただし、クレオソート油は有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律(昭和48年法律第112号)に適合したものとす。)、これと同等の薬剤を用いたK2からK4までの薬剤の浸潤度及び吸収量を確保する工場処理その他これと同等の性能を有する処理を含む。)が施されているもの又は認証木材建材(AQマーク表示)として認定された保存処理材を使用するものとする。 ・樹種及び等級  <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>材料の等級</th> <th>形 状</th> <th>表面の仕上げ</th> <th>含水率</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">構造下地</td> <td rowspan="2">杉</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">特1等</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">—</td> <td rowspan="2">A種</td> <td rowspan="2">KD</td> </tr> <tr> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>杉</td> <td>上小節</td> <td></td> <td></td> <td>A〔B〕C</td> <td>A種</td> <td>KD</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </p></p></p></p>	種 類	撤去工法	撤去範囲	備 考	ビニール床シート	改標仕6.2.2(a)(1)による	全面・一部(図示)	また、木床組の場合、撤去範囲を記入部分的な不良箇所に対する指示を記入。	ゴム系床タイル	フロリング張床	改標仕6.2.2(a)(3)	同 上		床タイル	改標仕6.2.2(a)(4)	同 上		床組	改標仕6.2.2(a)(5)	同 上		下地の状況	下地処理方法	備 考 欄	凹凸部処理	サンダー掛け ポリマーセメントモルタル エポキシ樹脂モルタル	合成樹脂床の場合	欠損部 下地モルタル撤去部	モルタルで補修し乾燥後 デッキブラシ等で清掃	機械等の区分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容	油圧クラッシャー使用		ダイヤモンドカッター使用		ハンドブレーカー使用		アグレッシブウォータージェット使用		撤 去 区 分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容	壁下地を含む全面		ボード面まで		ボード面を残し仕上げのみ		撤 去 区 分	既存壁取合の補修範囲及び内容	天井下地を含む全面	照明器具等による補強が必要な場合は、その内容も記入	ボード面まで	ボード面を残し仕上げのみ	施工箇所	樹 種	寸 法	材料の等級	形 状	表面の仕上げ	含水率	備 考	構造下地	杉		特1等		—	A種	KD	造作材	杉	上小節			A〔B〕C	A種	KD	造作材							
種 類	撤去工法	撤去範囲		備 考																																																																																									
ビニール床シート	改標仕6.2.2(a)(1)による	全面・一部(図示)	また、木床組の場合、撤去範囲を記入部分的な不良箇所に対する指示を記入。																																																																																										
ゴム系床タイル																																																																																													
フロリング張床	改標仕6.2.2(a)(3)	同 上																																																																																											
床タイル	改標仕6.2.2(a)(4)	同 上																																																																																											
床組	改標仕6.2.2(a)(5)	同 上																																																																																											
下地の状況	下地処理方法	備 考 欄																																																																																											
凹凸部処理	サンダー掛け ポリマーセメントモルタル エポキシ樹脂モルタル	合成樹脂床の場合																																																																																											
欠損部 下地モルタル撤去部	モルタルで補修し乾燥後 デッキブラシ等で清掃																																																																																												
機械等の区分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容																																																																																												
油圧クラッシャー使用																																																																																													
ダイヤモンドカッター使用																																																																																													
ハンドブレーカー使用																																																																																													
アグレッシブウォータージェット使用																																																																																													
撤 去 区 分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容																																																																																												
壁下地を含む全面																																																																																													
ボード面まで																																																																																													
ボード面を残し仕上げのみ																																																																																													
撤 去 区 分	既存壁取合の補修範囲及び内容																																																																																												
天井下地を含む全面	照明器具等による補強が必要な場合は、その内容も記入																																																																																												
ボード面まで																																																																																													
ボード面を残し仕上げのみ																																																																																													
施工箇所	樹 種	寸 法	材料の等級	形 状	表面の仕上げ	含水率	備 考																																																																																						
構造下地	杉		特1等		—	A種	KD																																																																																						
造作材	杉	上小節			A〔B〕C	A種	KD																																																																																						
造作材																																																																																													
3. 木工事		3. 普通コンクリート	◎設計基準強度 <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度 Fc (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>調管理強度 Fn (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>強度試験の有無</th> <th>種別</th> <th>気乾単位容積重量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通</td> <td>21</td> <td>21+S</td> <td>15</td> <td>有</td> <td></td> <td>2.3</td> <td>下記以外</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>15</td> <td>無し</td> <td></td> <td>2.3</td> <td>溶接金網部</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎構造体コンクリートの調管理強度は、設計基準強度(Fc)に構造体強度補正值(S)を加えた値とする。なお、構造体強度補正值(S)は、標仕表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める。</p> <p>◎コンクリートの強度試験 コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。 ・第4選定確認 原則、第3者機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。 ただし、第3者機関以外で行う場合は、立ち会い者を定め、監督員の承認を受け、行うこととする。 なお、試験機関を選定した際には、すみやかに監督員に報告すること。</p> <p>◎コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、標仕表6.2.31による。</p> <p>◎合板せき板を用いる打放し上げの種別は〔<b>A</b>〕・<b>B</b>〕・<b>C</b>〕種とする。</p> <p>◎コンクリートの仕上がりの平たんさは標仕表6.2.5による。</p> <p>◎セメントの種類は、〔<b>普通ポルトランドセメント</b>〕・混合セメントA種・高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種)とする。</p> <p>◎骨材は、標仕6.3.1(2)による。</p> <p>◎細骨材としてフェロニッケルスラグ使用(できる・〔<b>できない</b>〕)。 ◎細骨材に含まれる塩化物量は、NaCl換算で0.04%以下とする。</p> <p>◎コンクリート中の塩化物量は、0.3kg/m<sup>3</sup>以下とし、試験方法は標仕6.5.4による。</p> <p>◎試験りは(行う・〔<b>行わない</b>〕)。 ◎所要空気量は4.5%±1.5%とする。</p> <p>◎受注者は、コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない。 (1)コンクリート中のアルカリ総量の抑制 アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート1m<sup>3</sup>に含まれるアルカリ総量をNa<sub>2</sub>O換算で3.0kg以下にする。 (2)抑制効果のある混合セメント等の使用 JIS R 5211高炉セメントに適合する高炉セメント〔B種またはC種〕あるいはJIS R 5213フライアッシュセメントに適合するフライアッシュセメント〔B種またはC種〕もしくは混和材をポルトランドセメントに混入した結合材でアルカリ骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。 (3)安全と認められる骨材の使用 骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法またはモルタルバー法)の結果で無害と確認された骨材を使用する。 試験方法は、JIS A 1145骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」、JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。</p> <p>◎混和材料を使用する場合の種類は標仕6.3.1(4)によることとし、監督員の承諾を受けること。</p>	コンクリートの種類	設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	調管理強度 Fn (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	強度試験の有無	種別	気乾単位容積重量 (t/m <sup>3</sup> )	適用箇所	普通	21	21+S	15	有		2.3	下記以外	普通	21	21	15	無し		2.3	溶接金網部	3. 木工事																																																																	
コンクリートの種類	設計基準強度 Fc (N/mm <sup>2</sup> )	調管理強度 Fn (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	強度試験の有無	種別	気乾単位容積重量 (t/m <sup>3</sup> )	適用箇所																																																																																						
普通	21	21+S	15	有		2.3	下記以外																																																																																						
普通	21	21	15	無し		2.3	溶接金網部																																																																																						
章 3 章 軀 体 工 事 (2) (地 業 工 事)	1. 砂利・砂・割り石及び捨コンクリート地業等	◎材料は、市場品とする。 ◎砂利及び砂地業 ・厚さが300mmを超える場合は、300mmごとに締固めを行う。 ・砂利は、〔 <b>切込砂利</b> 〕・切込砕石・〔 <b>再生クラッシュヤラン</b> 〕とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>使用部位</th> <th>厚 さ</th> <th>粒度範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再生クラッシュヤラン</td> <td></td> <td>図示</td> <td>RC-30</td> </tr> </tbody> </table> <p>・締固めは、ランマー3回突き、振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締めとする。締固めによる凹凸は目つぶし砂利で上均しとする。</p> <p>◎締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承諾を得ること。 ◎捨コンクリートは、無筋コンクリート(スランプ15cm、設計基準強度18N/mm<sup>2</sup>)とし、厚さは 50 mmとする。</p>	種 別	使用部位	厚 さ	粒度範囲	再生クラッシュヤラン		図示	RC-30	章 3 章 軀 体 工 事 (2) (地 業 工 事)	4. 製材		3. 木工事																																																																															
種 別	使用部位	厚 さ	粒度範囲																																																																																										
再生クラッシュヤラン		図示	RC-30																																																																																										
(特 記)		徳島県教育委員会 施設整備課	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事名 <b>R 2 徳島視覚支援学校校 屋内運動場棟等空調設備設置工事空調</b></li> <li>図面名 <b>建築工事 特記仕様書 1</b></li> </ul>	●図面番号 A-01	株式会社 <b>ACE 設計</b> 〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2 Tel(088)632-1103(代) Fax(088)632-1198																																																																																								

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																				
5章 内装 改修 工事	5. 床張り用合板等	<p>◎ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の普通合板等を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>◎普通合板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アリーナ床</td> <td>12</td> <td>針葉樹</td> <td>特類</td> <td>C-D</td> <td>あり</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	備考	アリーナ床	12	針葉樹	特類	C-D	あり		6章 塗装 改修 工事	1. 一般事項	<p>◎防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。</p> <p>◎塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。</p> <p>◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">種別</th> <th rowspan="2">下地調整</th> <th colspan="2">さび止め塗料</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部(新設)</td> <td></td> <td>標仕 表18.8.2</td> <td>A種 標仕 表18.2.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄面(新設)</td> <td></td> <td>B種 標仕 表18.8.3</td> <td>C種 標仕 表18.2.1</td> <td></td> <td>B種 標仕 表18.3.1</td> <td>水系さび止め</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">種別</th> <th rowspan="2">素地ごしらえ</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フレキシブルボード面</td> <td>B種 標仕 表18.9.1</td> <td></td> <td>B種 標仕 表18.2.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">種別</th> <th rowspan="2">下地調整</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部(新設)</td> <td>B種 標仕 表18.11.1</td> <td></td> <td>B種 標仕 表18.2.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎体育館木質床 1液湿気硬化型ポリウレタン樹脂塗料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>工程</th> <th>塗料その他</th> <th>塗布量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>素地研磨</td> <td>ドラムサンダー#40~100及び、ポリッシャー#100で均一に研磨後、除塵。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>下塗り</td> <td>1液湿気硬化型ポリウレタン塗料</td> <td>80~100g/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>研磨</td> <td>ポリッシャー#100~150メッシュで均一に研磨後、除塵。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>中塗り</td> <td>1液湿気硬化型ポリウレタン塗料</td> <td>80~100g/m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>研磨</td> <td>ポリッシャー#100~150メッシュで均一に研磨後、除塵。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>線引き</td> <td>ウレタンエナメル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>上塗り</td> <td>1液湿気硬化型ポリウレタン塗料</td> <td>80~100g/m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table>	区分	種別		下地調整	さび止め塗料		備考	屋外	屋内	屋外	屋内	木部(新設)		標仕 表18.8.2	A種 標仕 表18.2.1				鉄面(新設)		B種 標仕 表18.8.3	C種 標仕 表18.2.1		B種 標仕 表18.3.1	水系さび止め	区分	種別		素地ごしらえ	備考	屋外	屋内	フレキシブルボード面	B種 標仕 表18.9.1		B種 標仕 表18.2.7		区分	種別		下地調整	備考	屋外	屋内	木部(新設)	B種 標仕 表18.11.1		B種 標仕 表18.2.1		No	工程	塗料その他	塗布量	1	素地研磨	ドラムサンダー#40~100及び、ポリッシャー#100で均一に研磨後、除塵。		2	下塗り	1液湿気硬化型ポリウレタン塗料	80~100g/m <sup>2</sup>	3	研磨	ポリッシャー#100~150メッシュで均一に研磨後、除塵。		4	中塗り	1液湿気硬化型ポリウレタン塗料	80~100g/m <sup>2</sup>	5	研磨	ポリッシャー#100~150メッシュで均一に研磨後、除塵。		6	線引き	ウレタンエナメル		7	上塗り	1液湿気硬化型ポリウレタン塗料	80~100g/m <sup>2</sup>	7章 舗装 工事	1. 路床	<p>◎盛土材料(標仕 表3.2.1のB種)</p> <p>◎六価クロム溶出試験を(行う・<u>行わない</u>)。 行った場合、土壌環境基準以下であることを確認すると共に、試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする。 六価クロム溶出試験は、「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12.3.31 建設第258号)の「六価クロム溶出試験実施要領(案)」により実施する。 土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合、試験の結果、六価クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合等は、監督員と協議するものとする。</p> <p>◎ジオテキスタイルを(使用する・<u>使用しない</u>)。</p> <p>◎路床土の支持力比(CBR)試験は(行う〔乱した土、乱さない土〕・<u>行わない</u>)</p> <p>◎路床締固め試験は(行う・<u>行わない</u>)。目標CBRは( )以上とする。</p> <p>◎砂の粒度試験は(行う・<u>行わない</u>)。</p> <p>◎路盤材料(再生リアグラン)。</p> <p>◎締固め試験は(行う・<u>行わない</u>)。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アスファルト</td> <td>表層</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎再生加熱アスファルト混合物を(使用する)・しない)。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>表層、基層の別</th> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加熱アスファルト混合物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>再生加熱アスファルト混合物</td> <td>表層</td> <td>密粒度7.5mm混合物</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎シールコートは(行う・<u>行わない</u>)。</p> <p>◎アスファルト混合物の抽出試験は(行う・<u>行わない</u>)。</p> <p>◎舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。</p> <p>◎地域は(〔一般地域〕・寒冷地域)とする。</p>	舗装の種類	部位	舗装の厚さ(mm)	アスファルト	表層	50	種別	表層、基層の別	種類	備考	加熱アスファルト混合物				再生加熱アスファルト混合物	表層	密粒度7.5mm混合物		2. 路盤		3. アスファルト舗装
	施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	備考																																																																																																																					
	アリーナ床	12	針葉樹	特類	C-D	あり																																																																																																																						
	区分	種別		下地調整	さび止め塗料		備考																																																																																																																					
		屋外	屋内		屋外	屋内																																																																																																																						
	木部(新設)		標仕 表18.8.2	A種 標仕 表18.2.1																																																																																																																								
	鉄面(新設)		B種 標仕 表18.8.3	C種 標仕 表18.2.1		B種 標仕 表18.3.1	水系さび止め																																																																																																																					
	区分	種別		素地ごしらえ	備考																																																																																																																							
		屋外	屋内																																																																																																																									
	フレキシブルボード面	B種 標仕 表18.9.1		B種 標仕 表18.2.7																																																																																																																								
	区分	種別		下地調整	備考																																																																																																																							
屋外		屋内																																																																																																																										
木部(新設)	B種 標仕 表18.11.1		B種 標仕 表18.2.1																																																																																																																									
No	工程	塗料その他	塗布量																																																																																																																									
1	素地研磨	ドラムサンダー#40~100及び、ポリッシャー#100で均一に研磨後、除塵。																																																																																																																										
2	下塗り	1液湿気硬化型ポリウレタン塗料	80~100g/m <sup>2</sup>																																																																																																																									
3	研磨	ポリッシャー#100~150メッシュで均一に研磨後、除塵。																																																																																																																										
4	中塗り	1液湿気硬化型ポリウレタン塗料	80~100g/m <sup>2</sup>																																																																																																																									
5	研磨	ポリッシャー#100~150メッシュで均一に研磨後、除塵。																																																																																																																										
6	線引き	ウレタンエナメル																																																																																																																										
7	上塗り	1液湿気硬化型ポリウレタン塗料	80~100g/m <sup>2</sup>																																																																																																																									
舗装の種類	部位	舗装の厚さ(mm)																																																																																																																										
アスファルト	表層	50																																																																																																																										
種別	表層、基層の別	種類	備考																																																																																																																									
加熱アスファルト混合物																																																																																																																												
再生加熱アスファルト混合物	表層	密粒度7.5mm混合物																																																																																																																										
11. せつこうボードその他 ボード及び合板張り	<p>◎ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆のフローリングを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>表面仕上・塗装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型積層 フローリング</td> <td>既存に合わせ</td> <td>18mm (表層単板厚6mm)</td> <td>ポリウレタン塗装</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎三洋工業製品 程度 71-スリ-ベ-スH=300</p> <p>床下点検口600×600、EXPマークメーカー標準品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種・規格品</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>不燃材等の区分</th> <th>小ねじ・釘・接着剤の種類</th> <th>下地の種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">せつこうボード JIS A 6901の規格品</td> <td>壁、天井</td> <td>突付</td> <td>12.5, 15</td> <td>不燃</td> <td>標仕19.7.2 (4)</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>9.5</td> <td>準不燃</td> <td>標仕19.7.2 (4)</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧せつこうボード トランパーチン仕様 JIS A 6901の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>9.5</td> <td>準不燃</td> <td>標仕19.7.2 (4)</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>9, 12</td> <td>不燃</td> <td>標仕19.7.2 (4)</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フレキシブルボード JIS A 5430の規格品</td> <td>天井</td> <td>突付</td> <td>8</td> <td>不燃</td> <td>標仕19.7.2 (4)</td> <td>LGS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通合板 農林省告示第233号</td> <td>壁</td> <td>突付</td> <td>12</td> <td></td> <td>標仕19.7.2 (4)</td> <td>LGS</td> <td>ラワン 2類</td> </tr> </tbody> </table>	種別	樹種	厚さ	表面仕上・塗装	大型積層 フローリング	既存に合わせ	18mm (表層単板厚6mm)	ポリウレタン塗装	材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備考	せつこうボード JIS A 6901の規格品	壁、天井	突付	12.5, 15	不燃	標仕19.7.2 (4)	LGS		天井	突付	9.5	準不燃	標仕19.7.2 (4)	LGS		化粧せつこうボード トランパーチン仕様 JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.5	準不燃	標仕19.7.2 (4)	LGS		ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品	天井	突付	9, 12	不燃	標仕19.7.2 (4)	LGS		フレキシブルボード JIS A 5430の規格品	天井	突付	8	不燃	標仕19.7.2 (4)	LGS		普通合板 農林省告示第233号	壁	突付	12		標仕19.7.2 (4)	LGS	ラワン 2類	12. 断熱・防露	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ</th> <th>工法</th> <th>補修材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グラスウール</td> <td>24K</td> <td>50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の断熱材を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.6ミ製</td> <td>450角</td> <td>一般型</td> <td>屋内用</td> <td>額縁</td> </tr> </tbody> </table>	種類	種別	厚さ	工法	補修材	備考	グラスウール	24K	50				材種	寸法	形式	外枠	内枠	7.6ミ製	450角	一般型	屋内用	額縁	13. 天井点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.6ミ製</td> <td>450角</td> <td>一般型</td> <td>屋内用</td> <td>額縁</td> </tr> </tbody> </table>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	7.6ミ製	450角	一般型	屋内用	額縁	14. その他	<p>◎防護マットは、厚50 難燃イグ</p> <p>◎天吊形空調機防球ガードは、(株)ブラコー製品 底面厚型 W1800×H350×D800 BNKS-1800PH 参考 程度</p> <p>◎配管ガードは、(株)ブラコー製品 LA防球ガード L=635, 1960 BLA-50P, BLA-980P(特寸) 参考 程度</p>																						
種別	樹種	厚さ	表面仕上・塗装																																																																																																																									
大型積層 フローリング	既存に合わせ	18mm (表層単板厚6mm)	ポリウレタン塗装																																																																																																																									
材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備考																																																																																																																					
せつこうボード JIS A 6901の規格品	壁、天井	突付	12.5, 15	不燃	標仕19.7.2 (4)	LGS																																																																																																																						
	天井	突付	9.5	準不燃	標仕19.7.2 (4)	LGS																																																																																																																						
化粧せつこうボード トランパーチン仕様 JIS A 6901の規格品	天井	突付	9.5	準不燃	標仕19.7.2 (4)	LGS																																																																																																																						
ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品	天井	突付	9, 12	不燃	標仕19.7.2 (4)	LGS																																																																																																																						
フレキシブルボード JIS A 5430の規格品	天井	突付	8	不燃	標仕19.7.2 (4)	LGS																																																																																																																						
普通合板 農林省告示第233号	壁	突付	12		標仕19.7.2 (4)	LGS	ラワン 2類																																																																																																																					
種類	種別	厚さ	工法	補修材	備考																																																																																																																							
グラスウール	24K	50																																																																																																																										
材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																																								
7.6ミ製	450角	一般型	屋内用	額縁																																																																																																																								
材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																																																																																								
7.6ミ製	450角	一般型	屋内用	額縁																																																																																																																								
(特記)			徳島県教育委員会 施設整備課	<p>●工事名 R 2 徳島視覚支援学校他 屋内運動場棟等空調設備設置工事空調</p> <p>●図面名 建築工事 特記仕様書 2</p>	<p>●図面番号 A-02</p> <p>●縮尺 NON (A2), NON (A3)</p>	<p>株式会社 ACE 設計</p> <p>〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2 Tel (088) 632-1103(代) Fax (088) 632-1198</p>																																																																																																																						



--- はグリッド間寸法=1200を示す

(特記)

徳島県教育委員会 施設整備課

●工事名 R 2 徳島視覚支援学校他 屋内運動場棟等空調設備設置工事空調

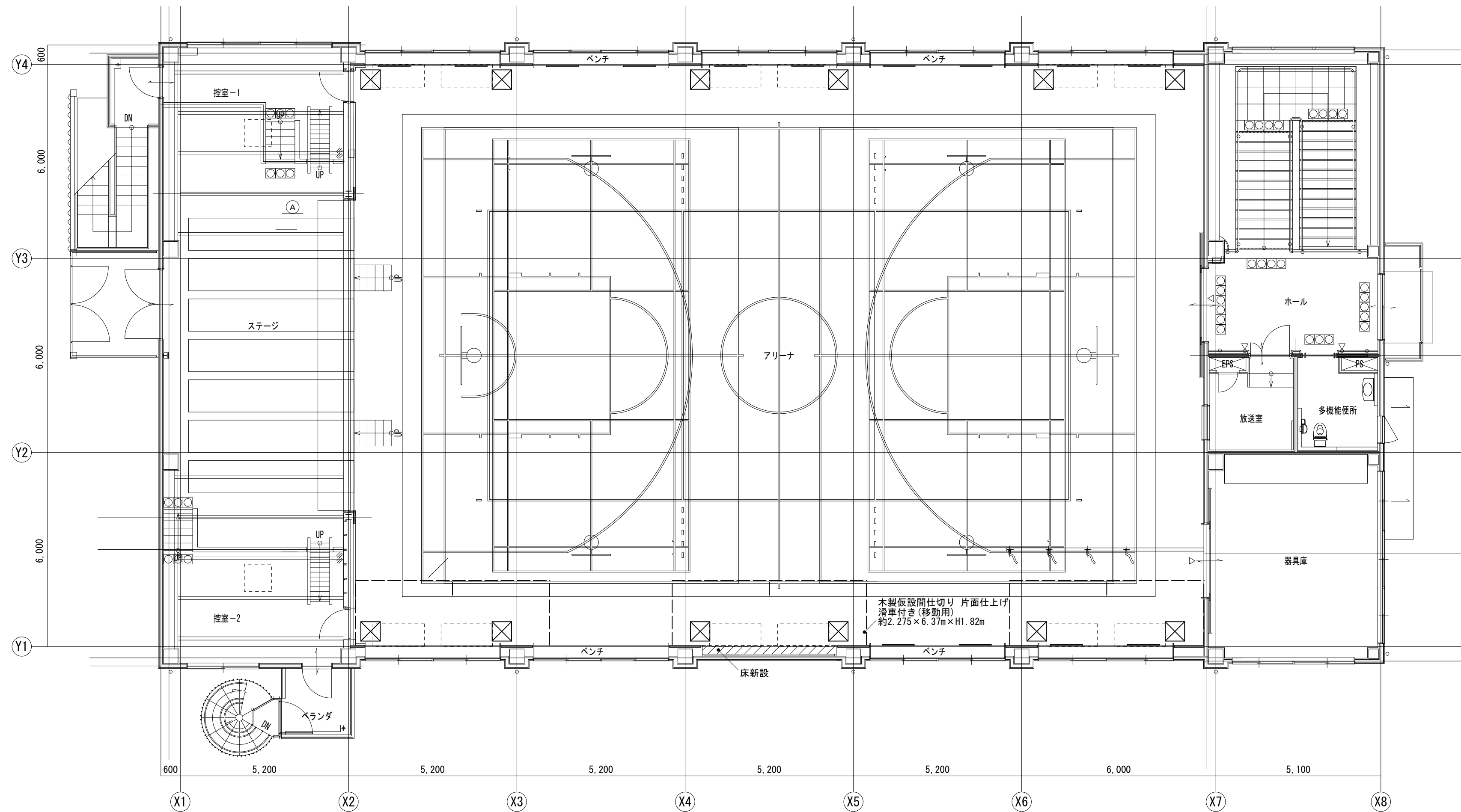
●図面名 (屋内運動場棟) 仮囲い図

●図面番号 A-03

●縮尺 1/100 (A2), 1/141 (A3)

株式会社 エージーイー 設計 ACE 設計

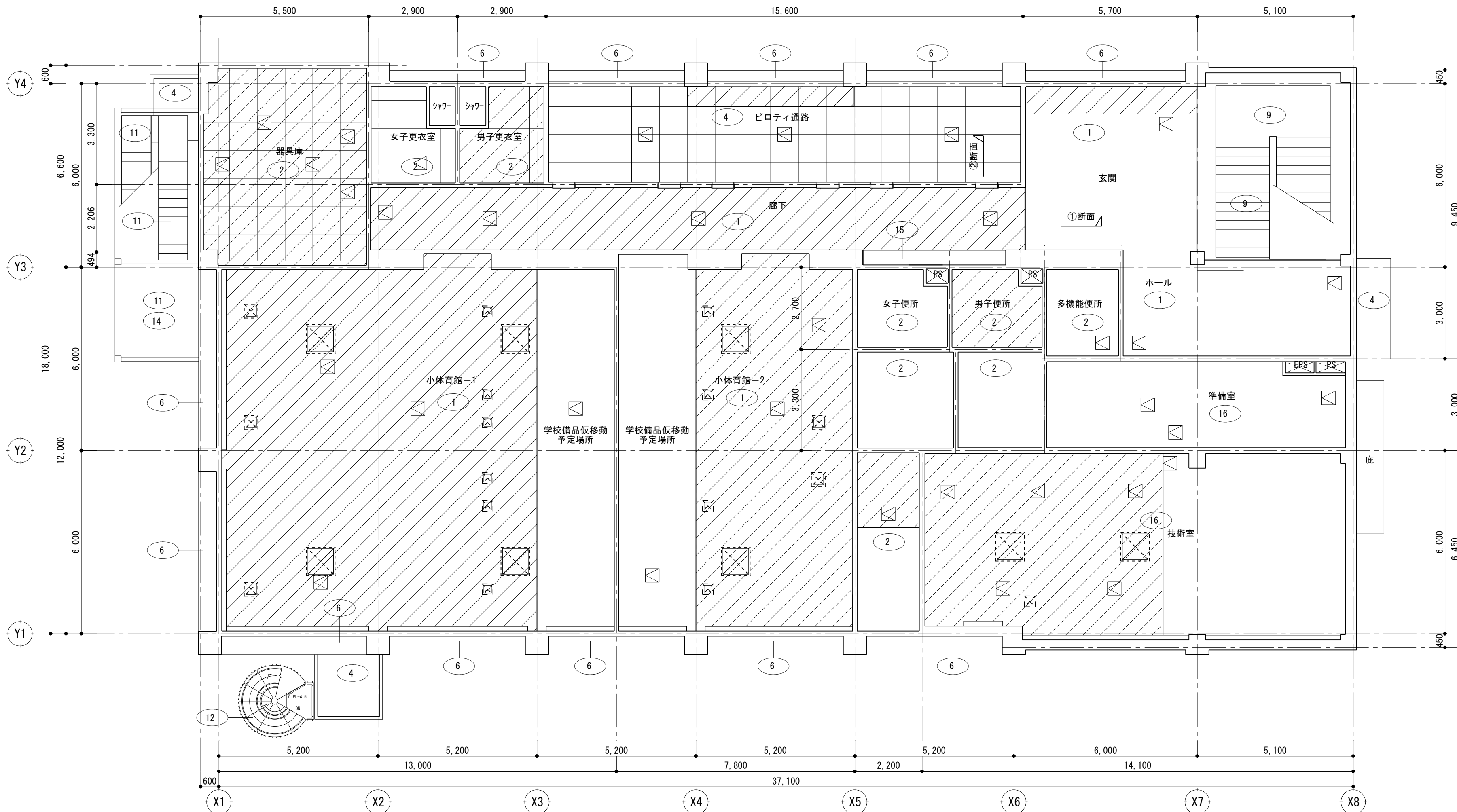
〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2  
Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198



2階平面図 SC=1/100

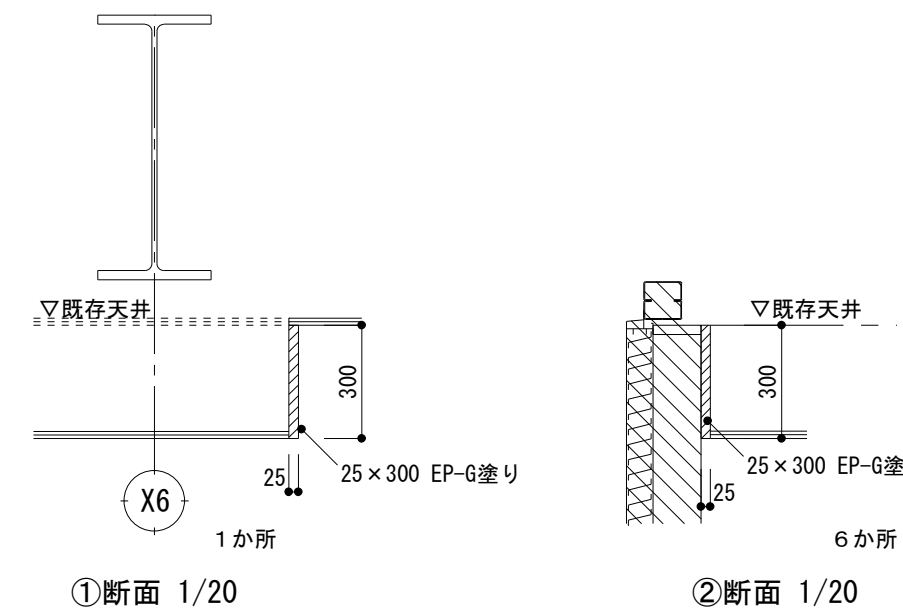
⊠ は床下点検口を示す  
 - - は仮設間仕切り (PB) を示す

(特記)	徳島県教育委員会 施設整備課	●工事名 R 2 徳島視覚支援学校他 屋内運動場棟等空調設備設置工事空調	●図面番号 A-04	株式会社 ACE 設計 〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2 Tel(088)632-1103(代) Fax(088)632-1198
		●図面名 (屋内運動場棟)2階平面図	●縮尺 1/100(A2), 1/141(A3)	



符号	現況・撤去仕上	改修後仕上
①	ロックール吸音板厚9, 下地PB厚9.5 LGS19 撤去	ロックール吸音板厚9, 下地PB厚9.5 LGS19 新設
②	化粧PBt9.5 (910×910) LGS19 撤去	化粧PBt9.5 (910×910) LGS19 新設
④	フレスコ'ル'ト'厚8 EP塗 (底目地) LGS25 撤去	フレスコ'ル'ト'厚8 EP塗 (底目地) LGS25 新設
⑬	ロックール吸音板厚12, 下地PB厚9.5 LGS19 撤去 浮遮音天井 PB厚15二重張り, GW厚50 (24K) LGS19 撤去	ロックール吸音板厚12, 下地PB厚9.5 LGS19 新設 浮遮音天井・吊り型防振'ル'より下を改修 PB厚15二重張り, GW厚50 (24K) LGS19 新設
▽		天井点検口 新設
⊠		天井開口補強 新設
⊘	天井改修部分を示す	

※天井LGSは、屋内19型・屋外25型とする。  
 ※天井ふところが1.5m以上の場合、下地補強（振れ止め）を行うこと。  
 （技術室、準備室、更衣室、1階器具庫、1階各便所）



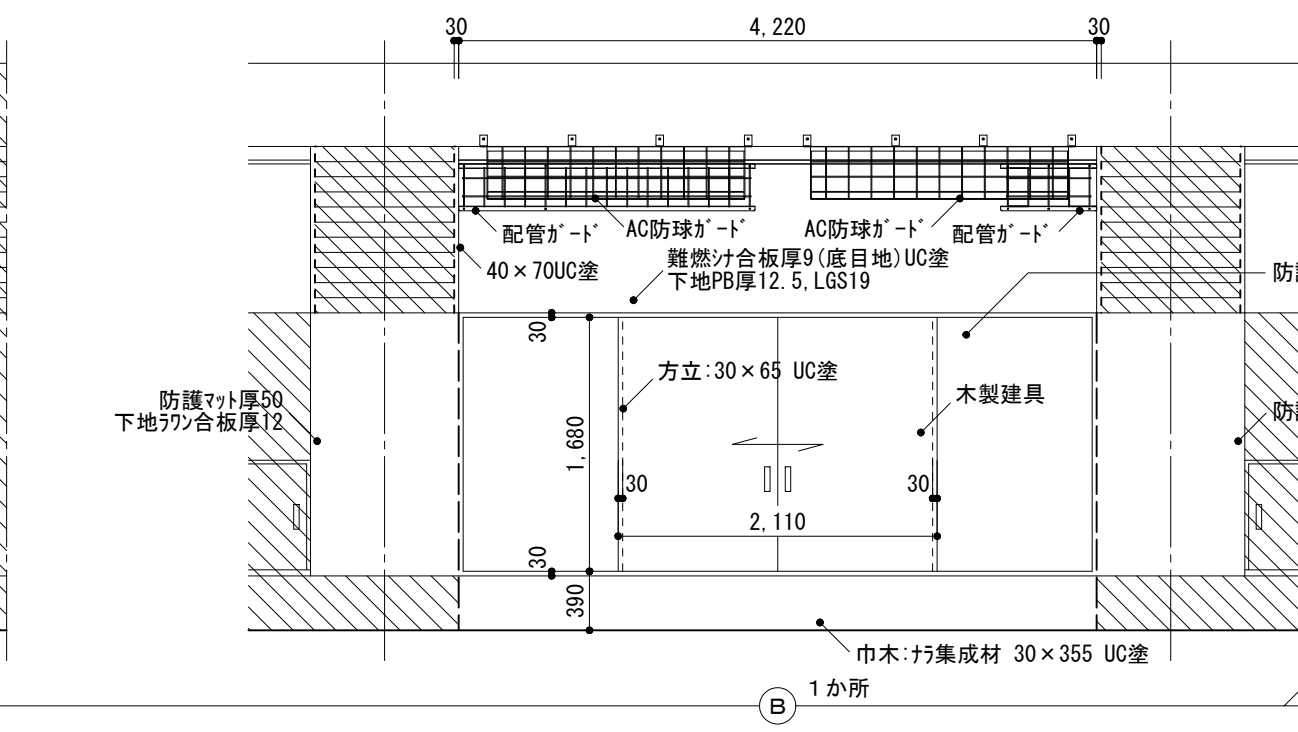
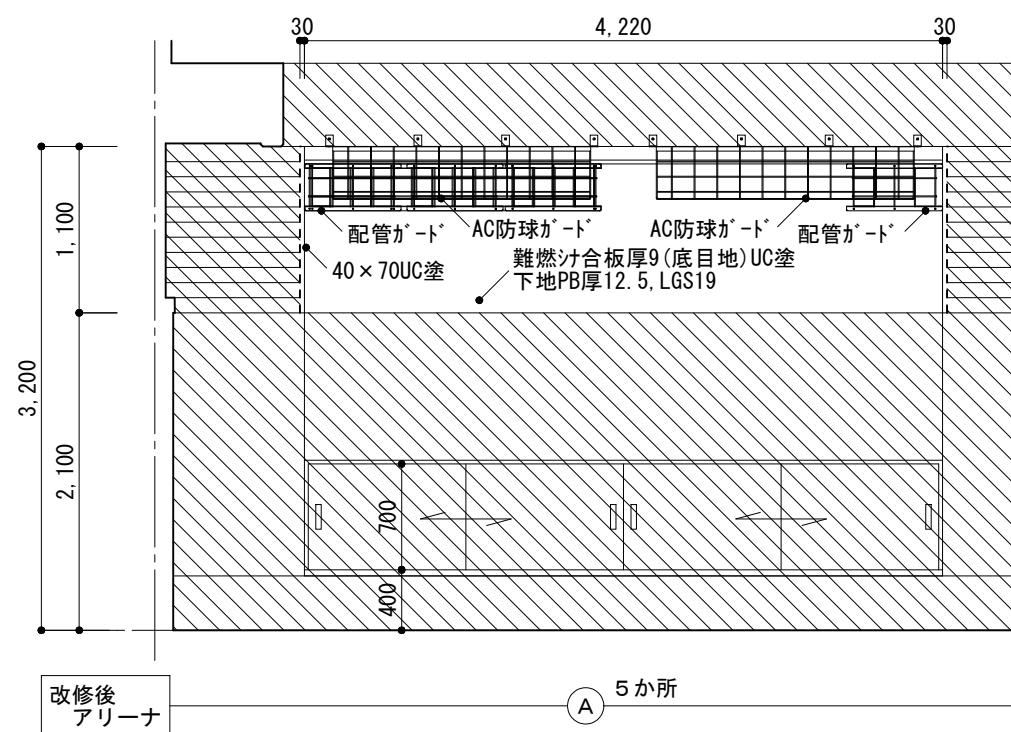
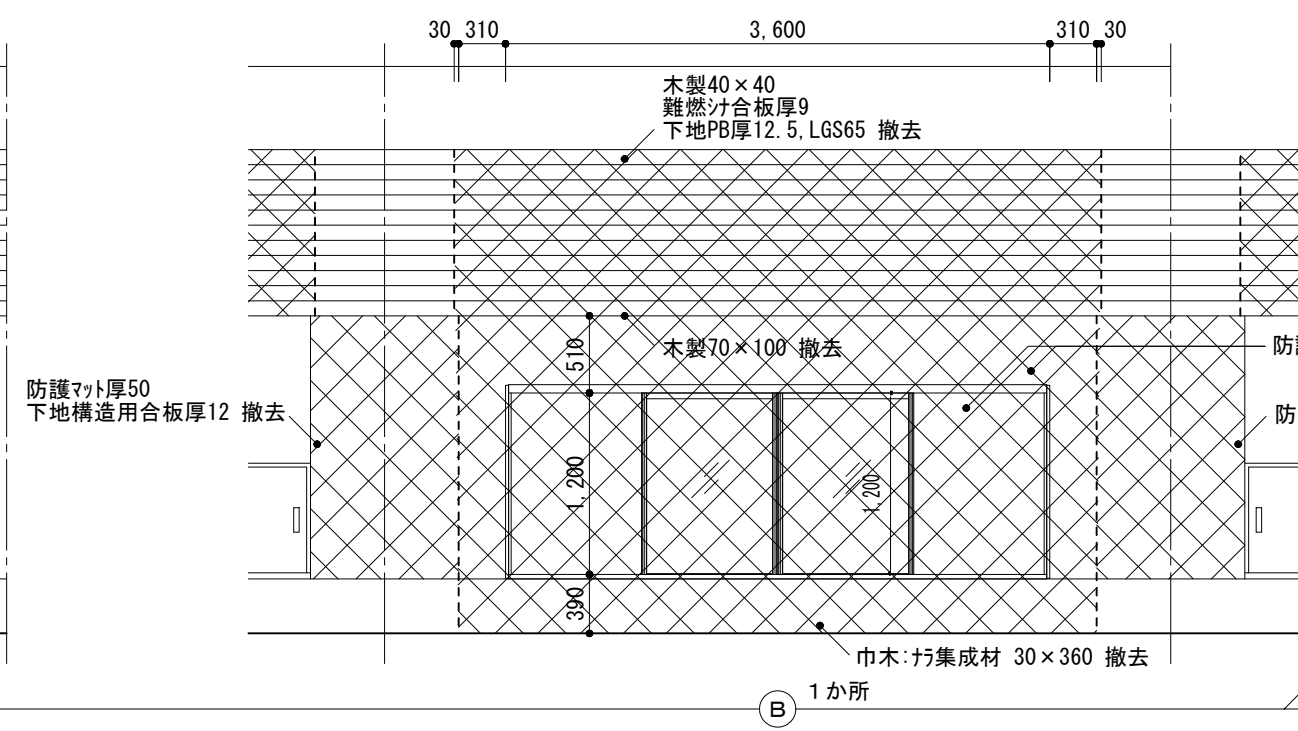
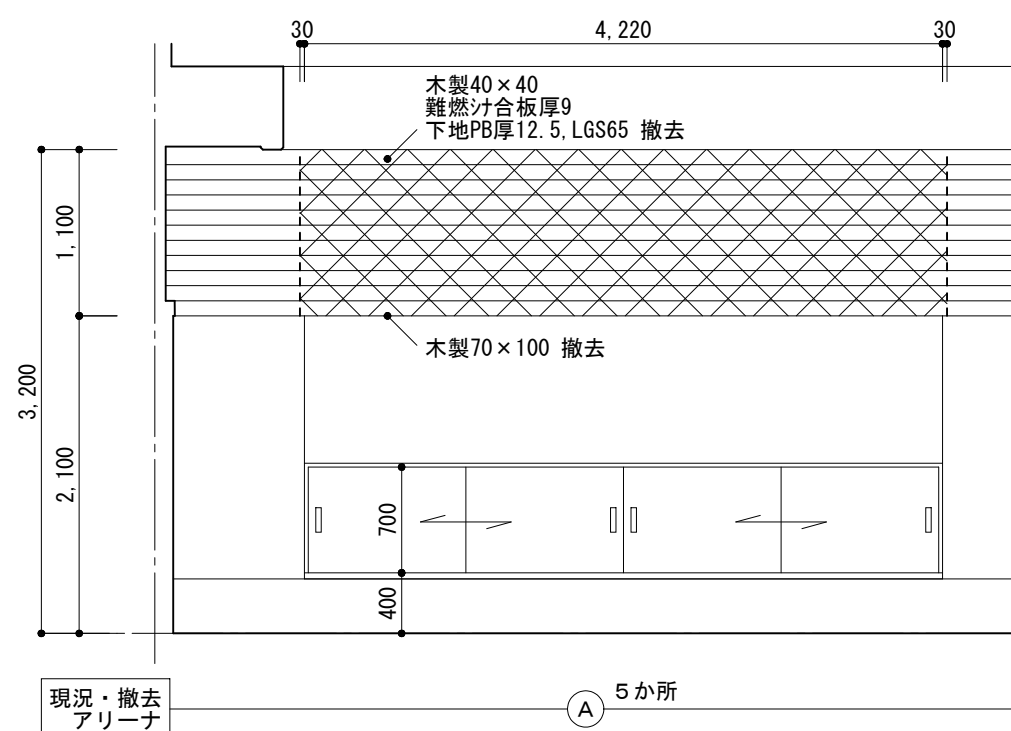
(特記)

徳島県教育委員会 施設整備課

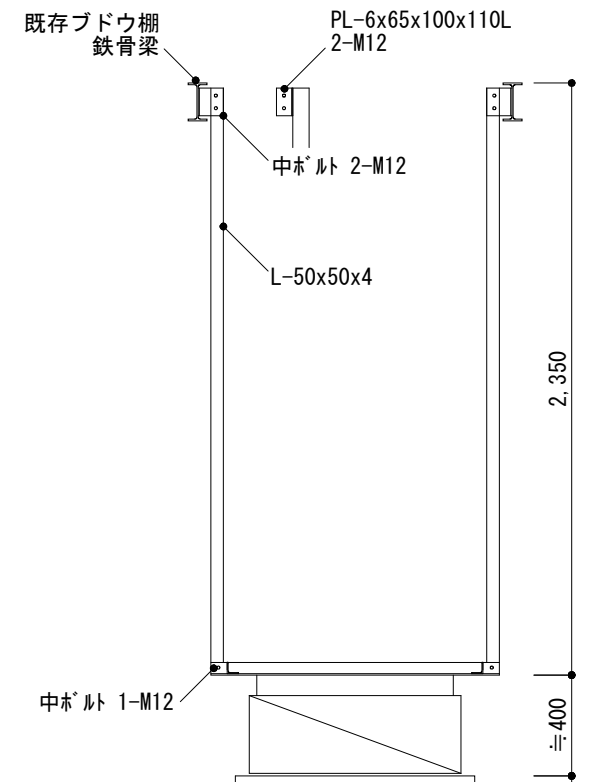
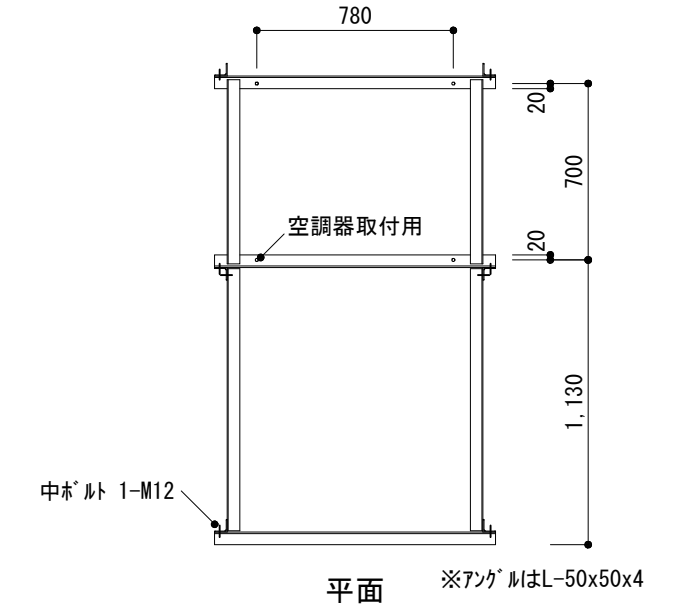
●工事名 R 2 徳島視覚支援学校他 屋内運動場棟等空調設備設置工事空調  
 ●図面名 (屋内運動場棟)1階天井伏図

●図面番号 A-05  
 ●縮尺 1/100 (A2), 1/141 (A3)

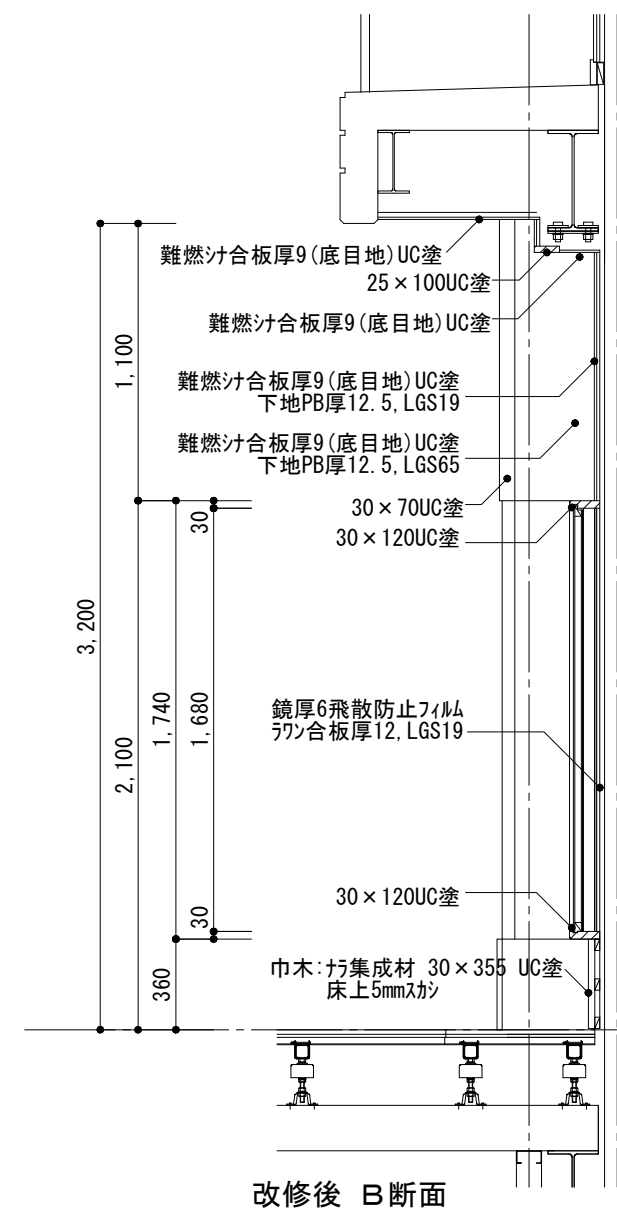
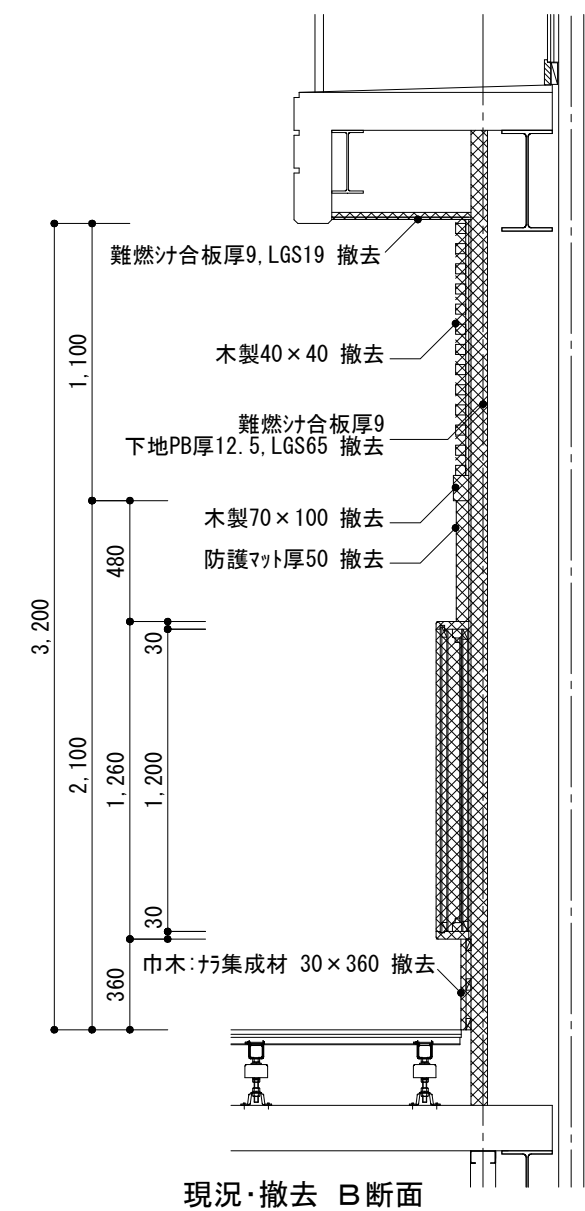
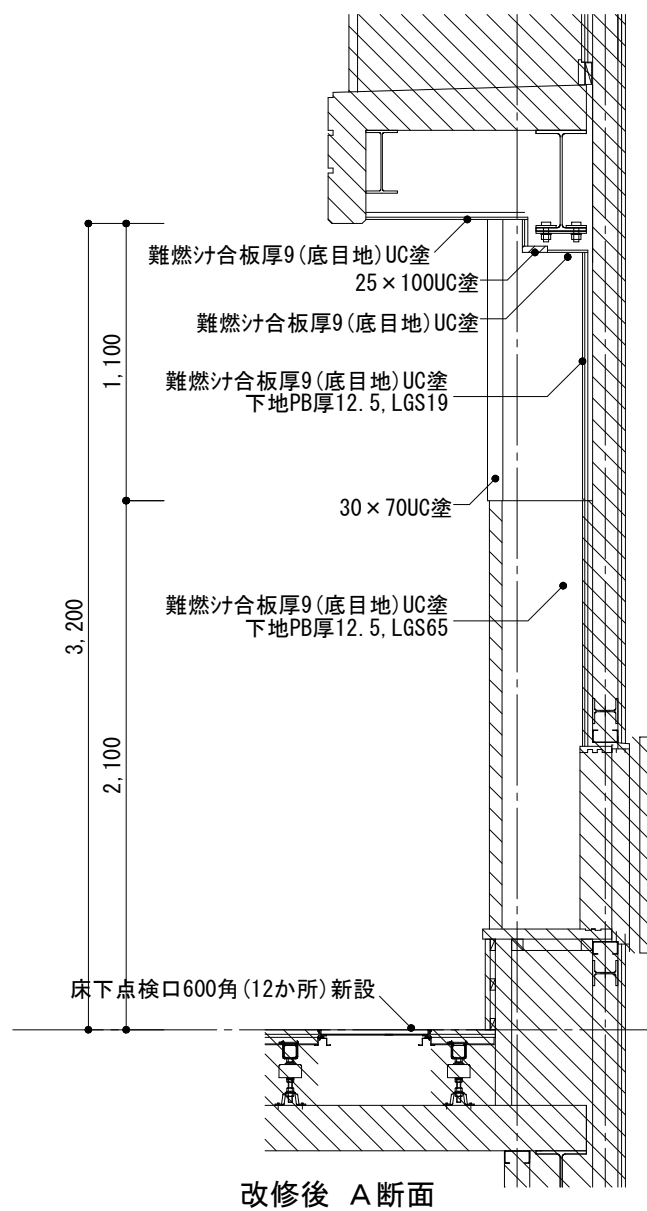
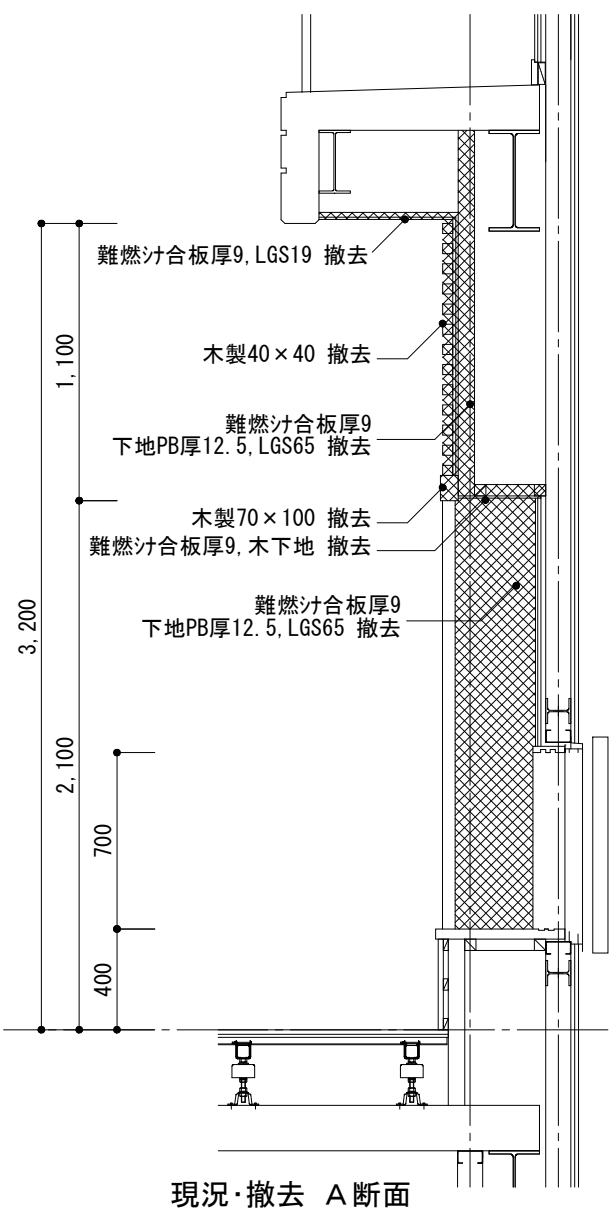
株式会社 ACE 設計  
 〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2  
 Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198



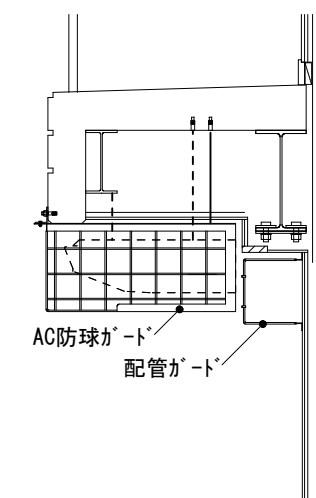
※木製建具: 厚36, w2110×h1680  
仕上: シカベニ厚5.5, 裏板珠合板厚4 UC塗  
金物: 引手, 戸車, SUSレール



※中ボルトはダブルナット  
寸法は空調機器の決定後、  
監督員の承認をえること



※床下点検口・床補修は、既存下地を調査のうえ  
補強を行い適切な範囲を補修。



断面  
控室1・2 空調機器取付図

(特記)

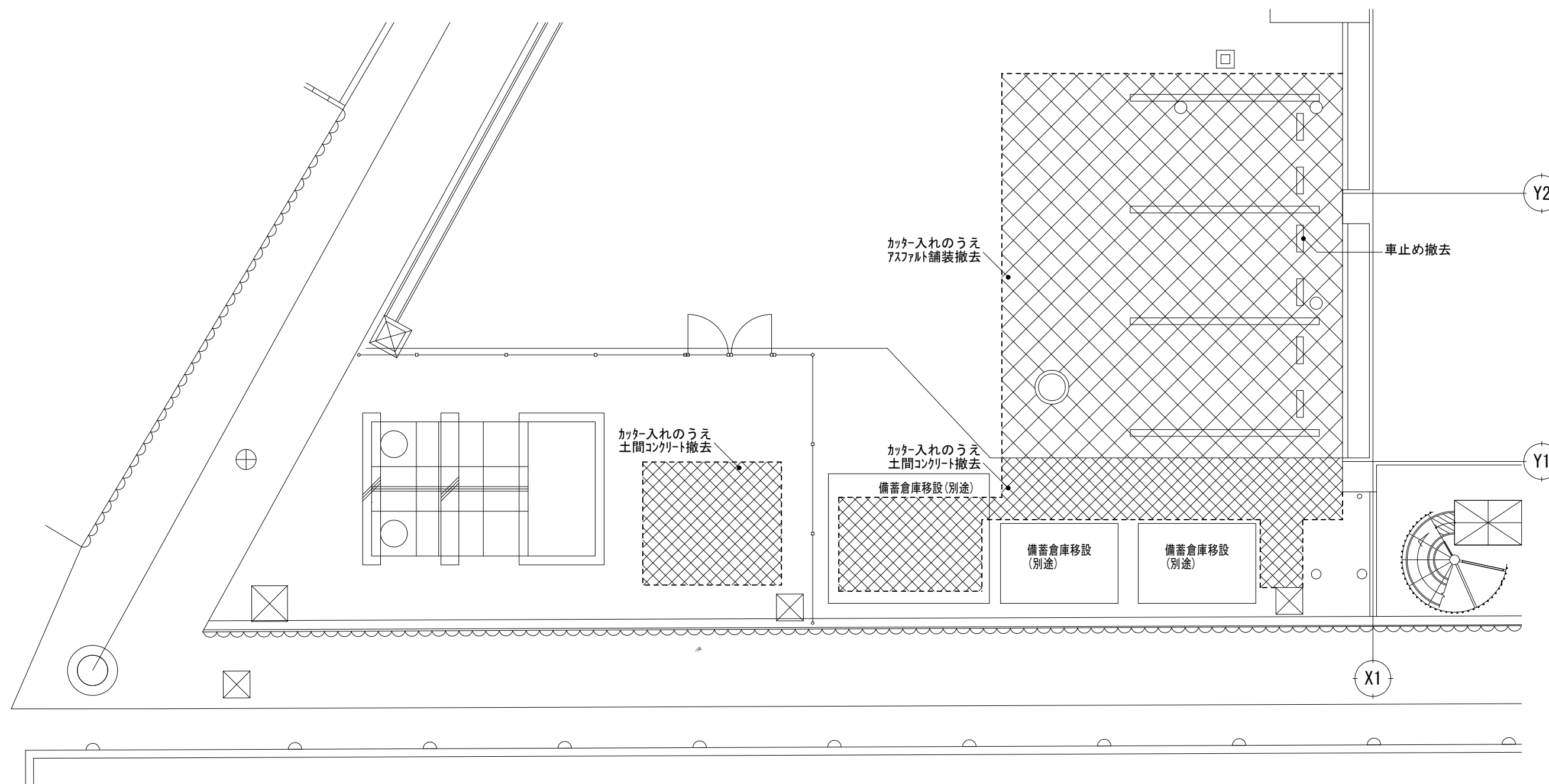
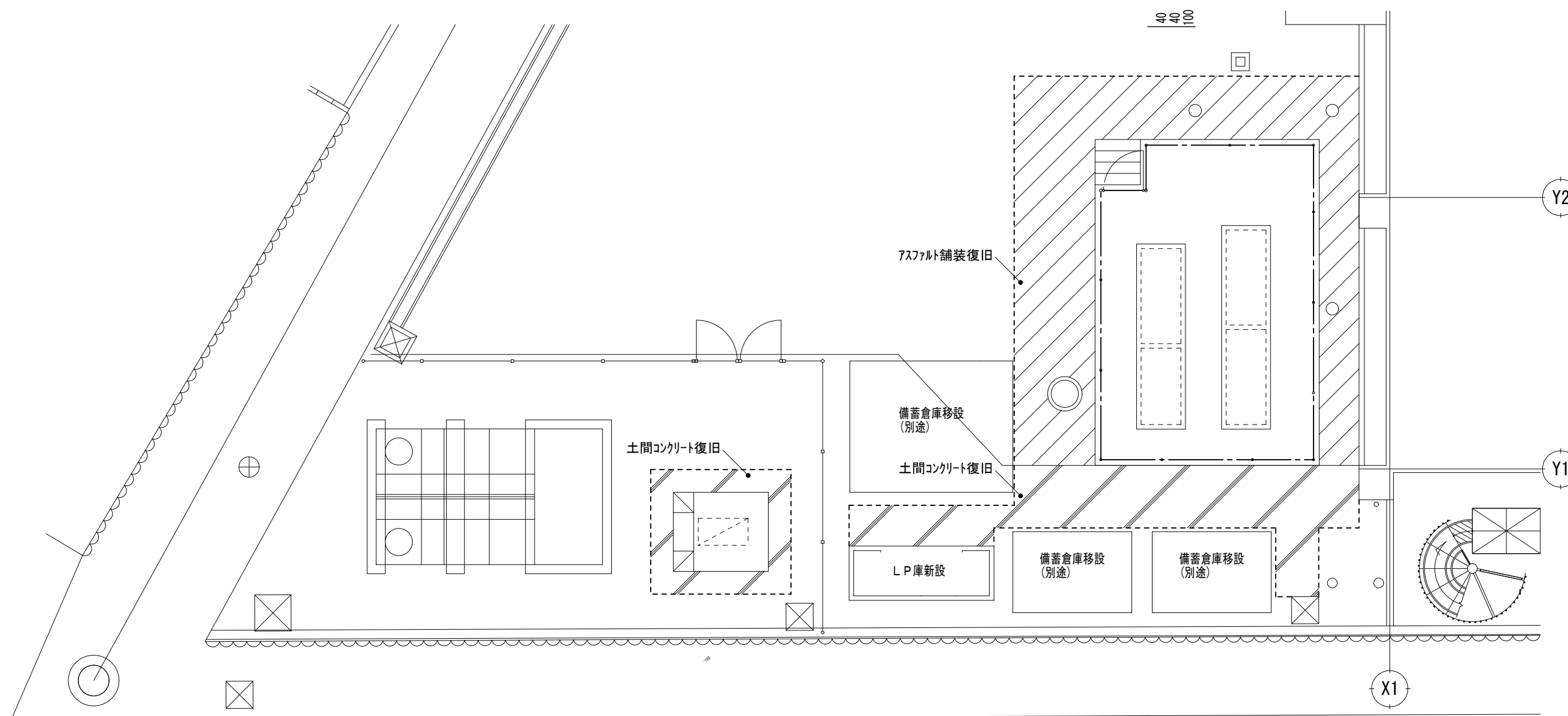
は撤去を示す  
は既存のままを示す  
はシリングを示す

徳島県教育委員会 施設整備課

●工事名 R2徳島視覚支援学校他 屋内運動場棟等空調設備設置工事空調  
●図面名 (屋内運動場棟)アリーナ部分詳細図

●図面番号 A-06  
●縮尺 1/50, 1/30 (A2)  
1/70, 1/42 (A3)

株式会社 ACE 設計  
〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2  
Tel(088)632-1103(代) Fax(088)632-1198



(特記)

徳島県教育委員会 施設整備課

●工事名 R 2 徳島視覚支援学校他 屋内運動場棟等空調設備設置工事空調  
●図面名 (屋内運動場棟) 外構図

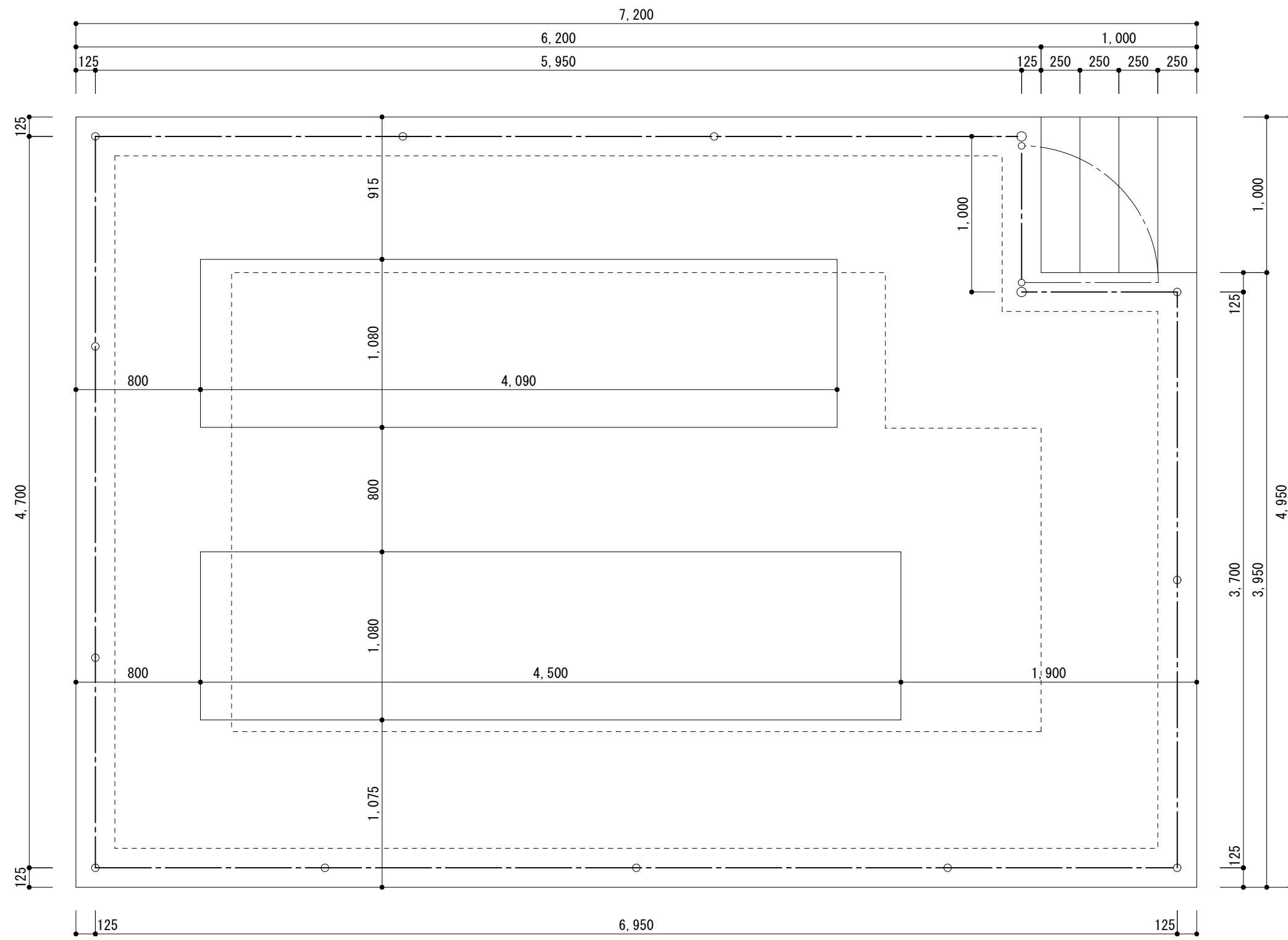
●図面番号 A-07

●縮尺 1/100 (A2), 1/141 (A3)

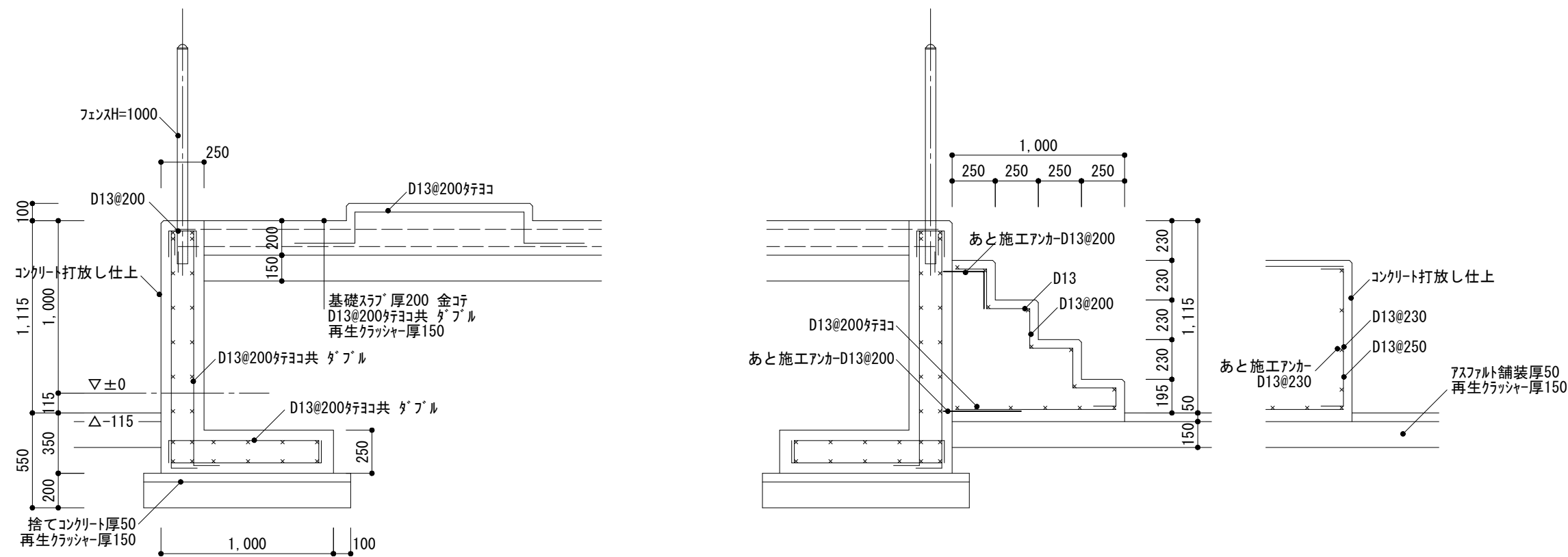
株式会社 エーシーイー 設計 ACE 設計

〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2  
Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198



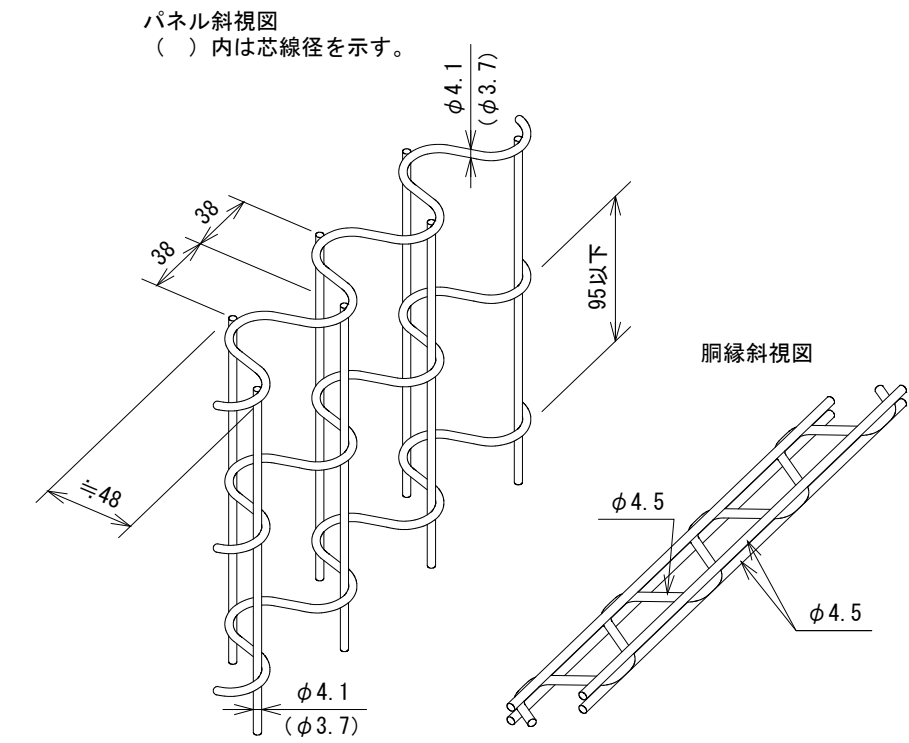
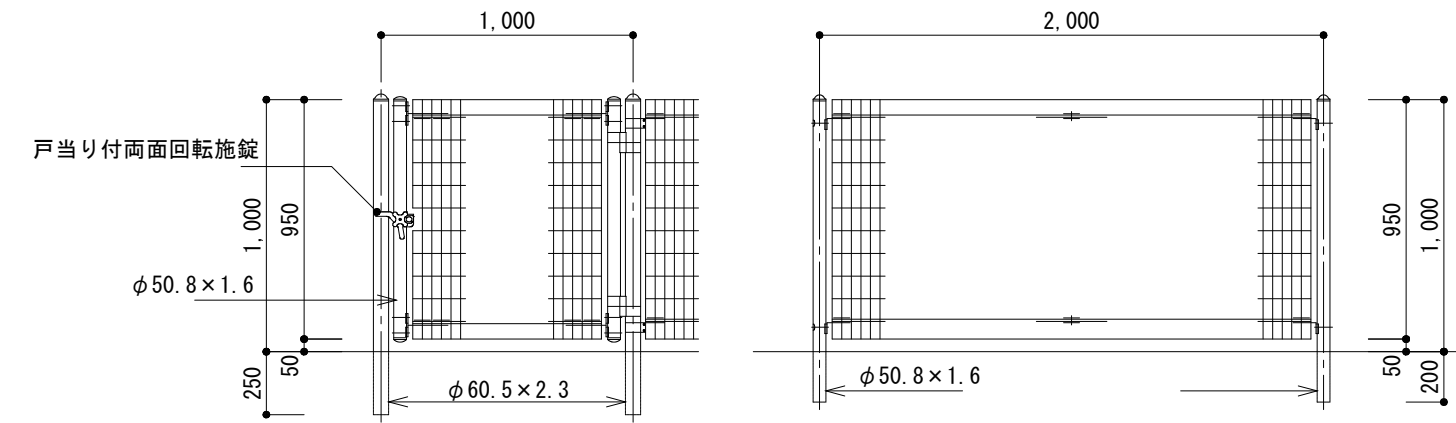


平面図詳細図



断面図詳細図

設計条件  
 設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。  
 基礎条件・・・長期許容地耐力 98 kN/m<sup>2</sup> (10 t/m<sup>2</sup>)  
 備考  
 1. 外装について  
 ・主柱、門柱、枠体 } 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上  
 ・パネル取付金具類 } ... 高耐候性樹脂粉末塗装  
 ・ワイヤメッシュ } ... 亜鉛めっきの上耐候性樹脂粉末塗装  
 ・銅線 } ... 亜鉛めっきの上耐候性樹脂粉末塗装  
 ・ボルト、ナット } ... 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理



(特記)

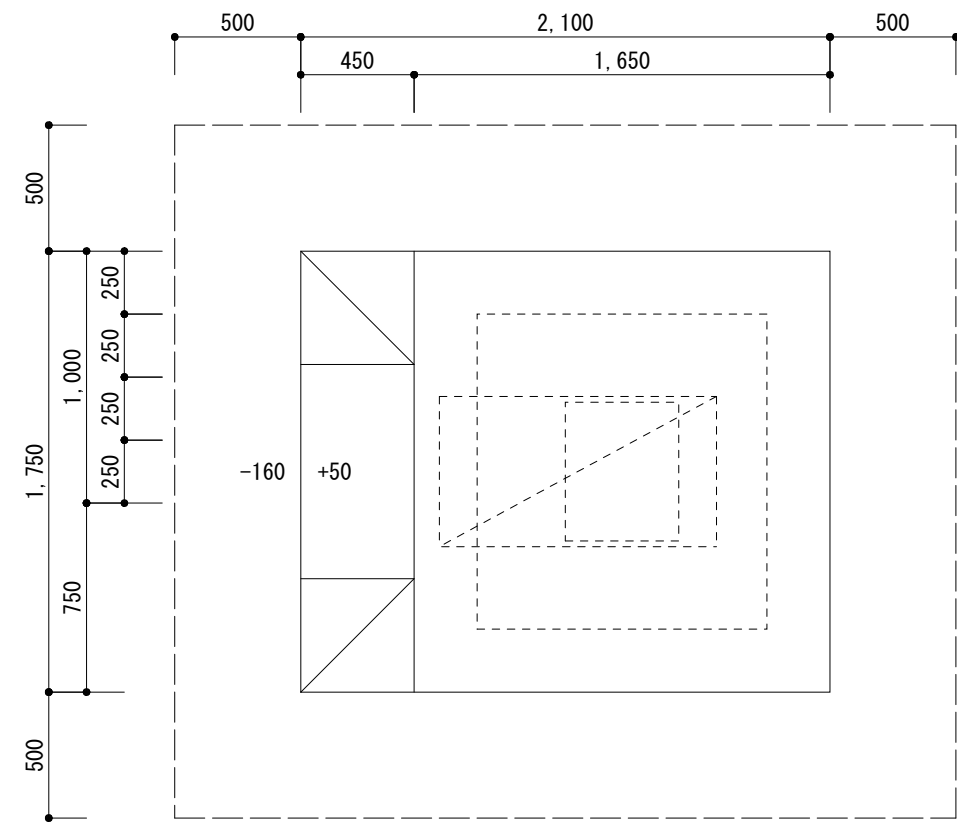
徳島県教育委員会 施設整備課

●工事名 R 2 徳島視覚支援学校他 屋内運動場棟等空調設備設置工事空調  
 ●図面名 (屋内運動場) 室外機基礎図

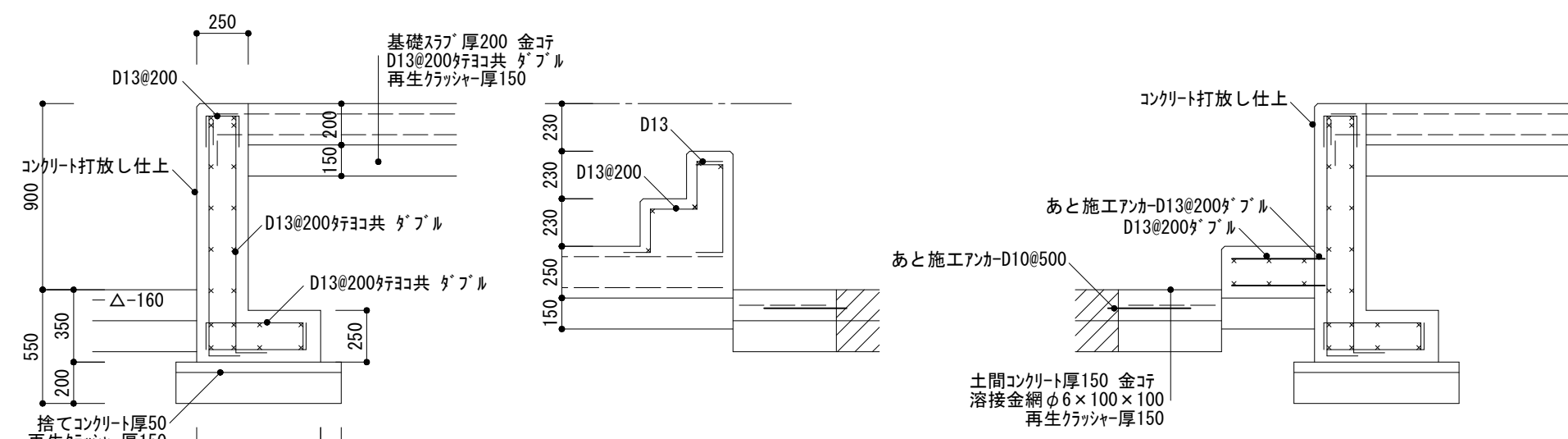
●図面番号 A-08  
 ●縮尺 1/30 (A2), 1/42 (A3)

株式会社 A エーシーイー 設計  
 〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2  
 Tel (088) 632-1103 (代) Fax (088) 632-1198

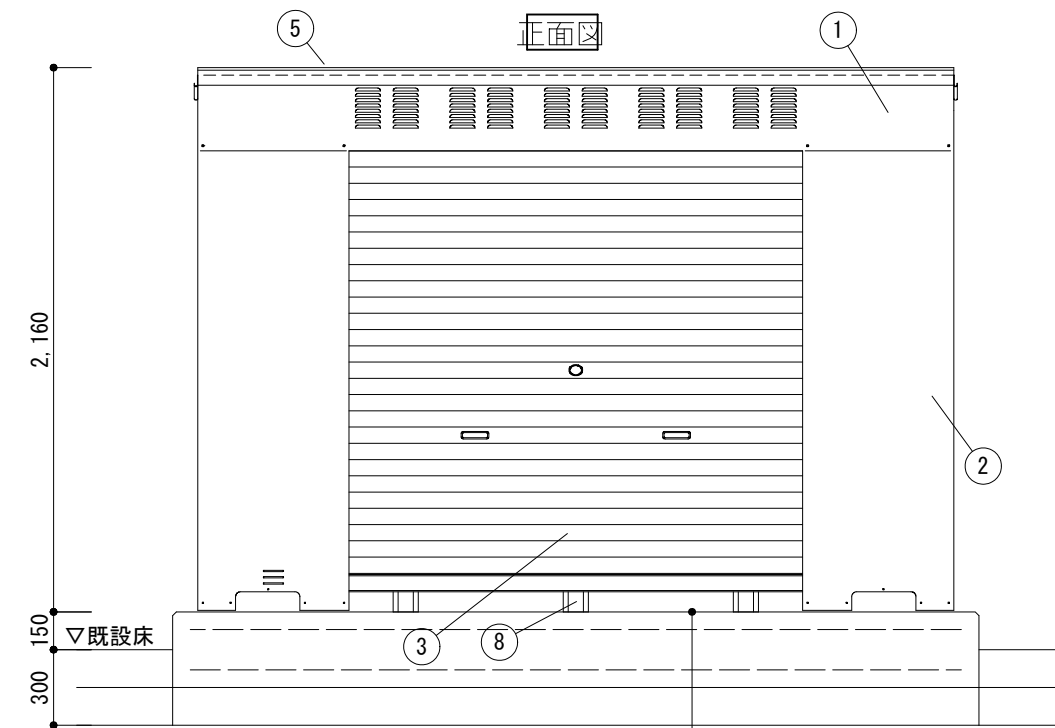




平面図詳細図

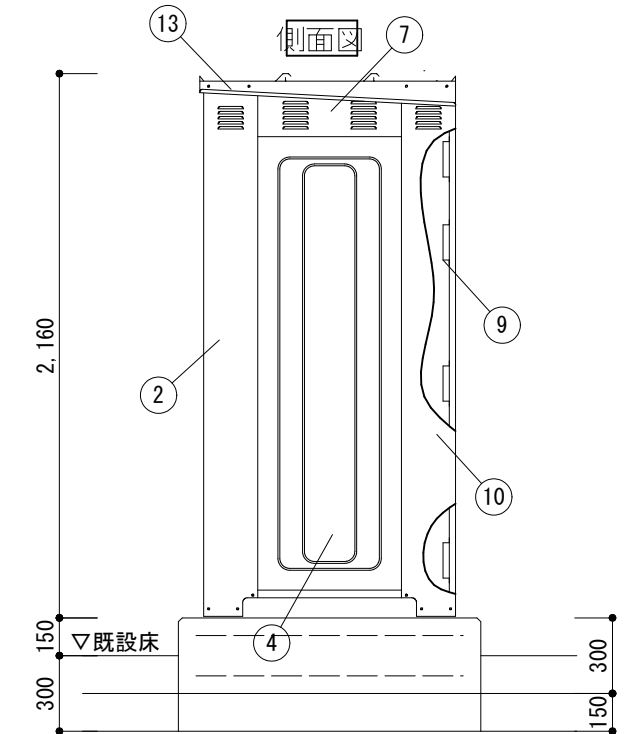


断面図詳細図

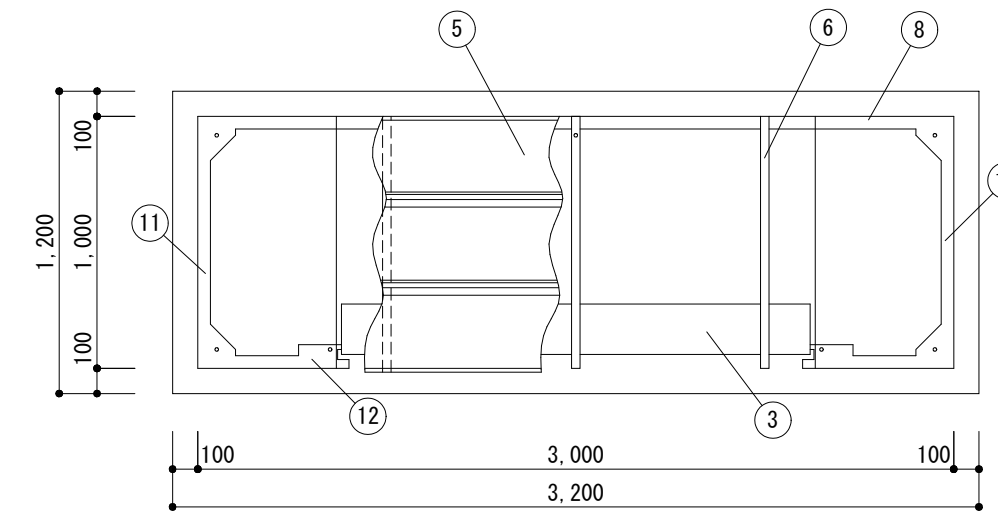


正面図

基礎コンクリート厚300 金苴  
D13@200@300共 ダブル  
再生ガラツキヤ厚150



側面図



平面図

番号	品名	材質	個数	備考
1	前梁	SGCC	1	t0.8 溶融亜鉛メッキ
2	前柱	SGCC	右 左1	t0.8 溶融亜鉛メッキ
3	シャッター	SGCC	1	t0.4 溶融亜鉛メッキ
4	側パネル	ZAM	2	t0.5 溶融メッキ ※
5	屋根	ZAM	前 中 後1	t0.7 溶融メッキ ※
6	母屋	SGCC	3	t1.2 溶融亜鉛メッキ
7	側梁	SGCC	2	t0.7 溶融亜鉛メッキ
8	後土台	ZAM	1	t1.6 溶融メッキ ※
9	横棧	ZAM	4	t1.2 溶融メッキ ※
10	後柱	SGCC	右 左1	t0.7 溶融亜鉛メッキ
11	左右土台	ZAM	2	t2.0 溶融メッキ ※
12	左右前土台	ZAM	右 左1	t2.0 溶融メッキ ※
13	屋根受け雨樋	ZAM	右 左1	t1.2 溶融メッキ ※
14	アカ-M16		7	

(特記)

徳島県教育委員会 施設整備課

●工事名 R 2 徳島視覚支援学校他 屋内運動場棟等空調設備設置工事空調

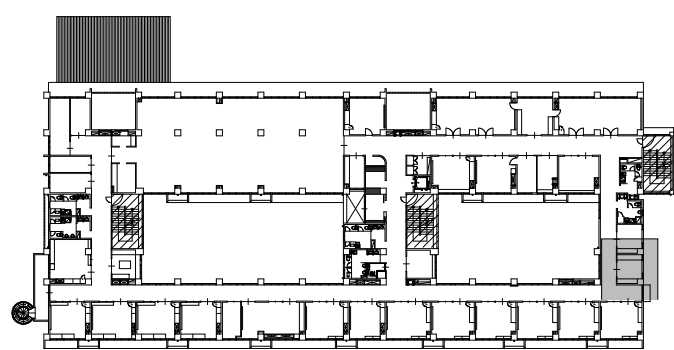
●図面番号 A-09

株式会社 ACE 設計

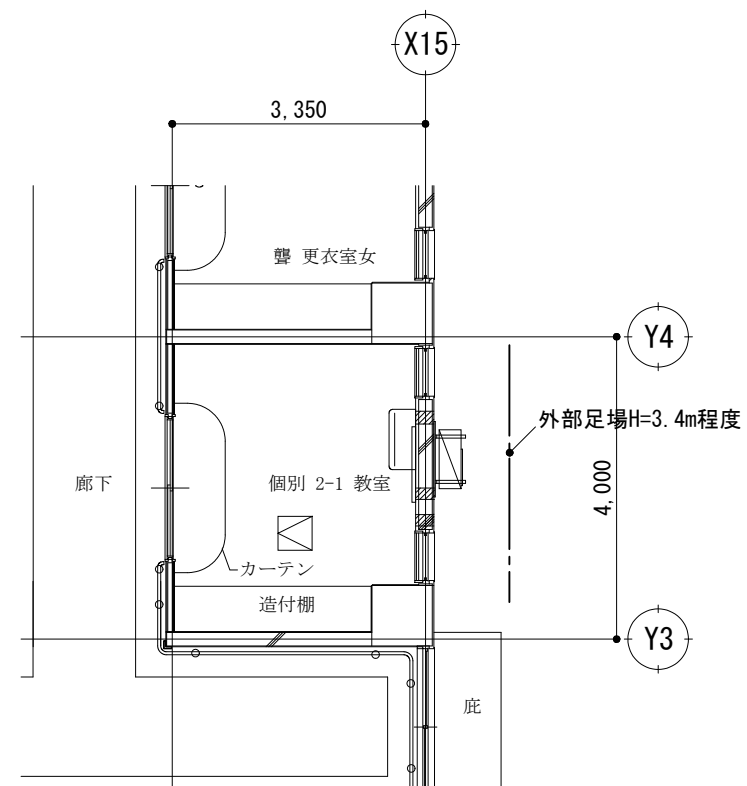
●図面名 (屋内運動場) 雑詳細図

●縮尺 1/30(A2), 1/42(A3)

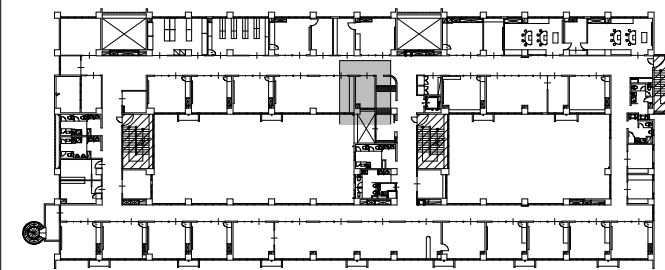
〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2  
Tel(088)632-1103(代) Fax(088)632-1198



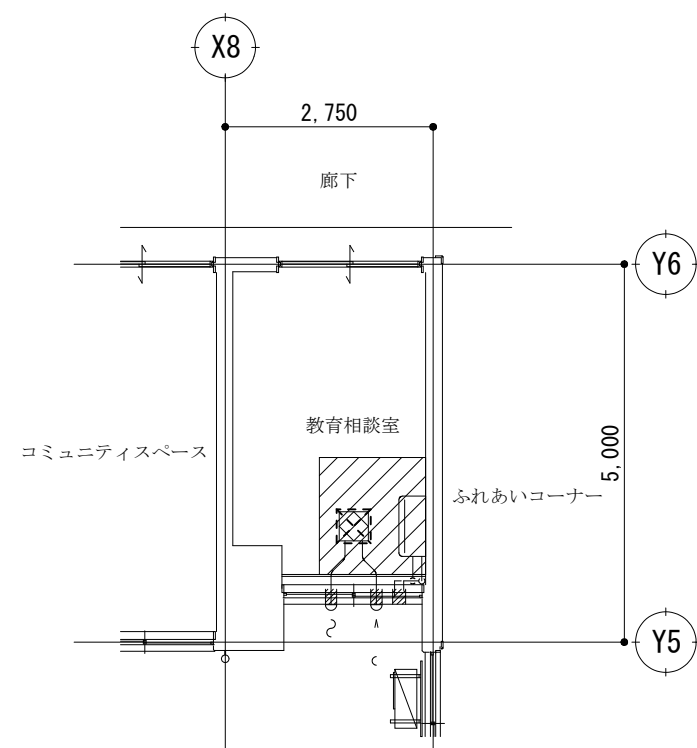
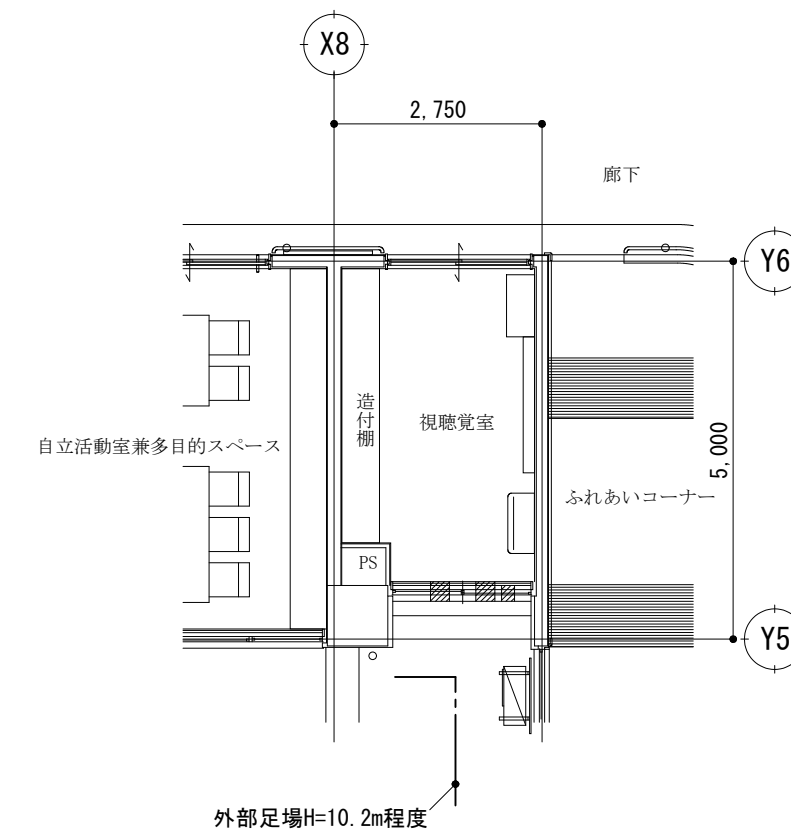
2階平面図 Key Plan



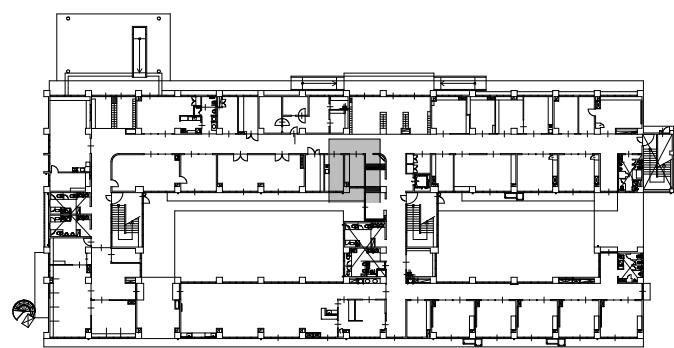
符号	現況・撤去仕上	改修後仕上
◻		天井点検口 新設



3階平面図 Key Plan



符号	現況・撤去仕上	改修後仕上
◻	化粧PBt9.5(910×910) LGS19 撤去	化粧PBt9.5(910×910) LGS19 新設
◻		天井開口補強 新設
▨	天井改修部分を示す	



1階平面図 Key Plan

(特記)

徳島県教育委員会 施設整備課

●工事名 R 2 徳島視覚支援学校他 屋内運動場棟等空調設備設置工事空調

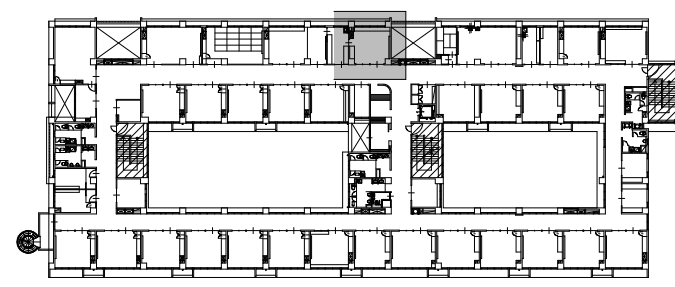
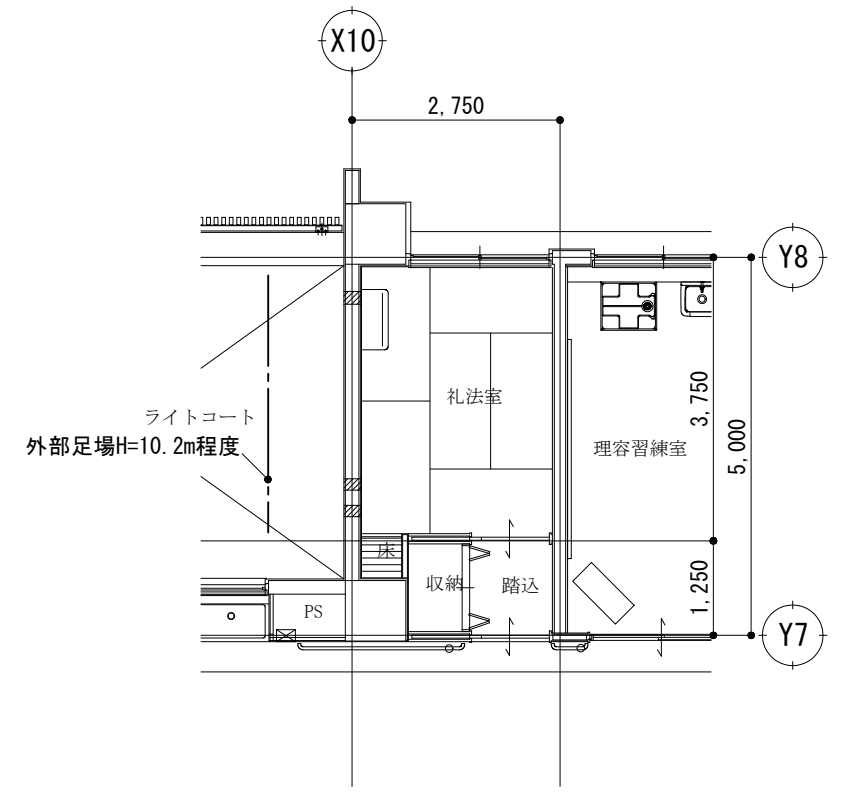
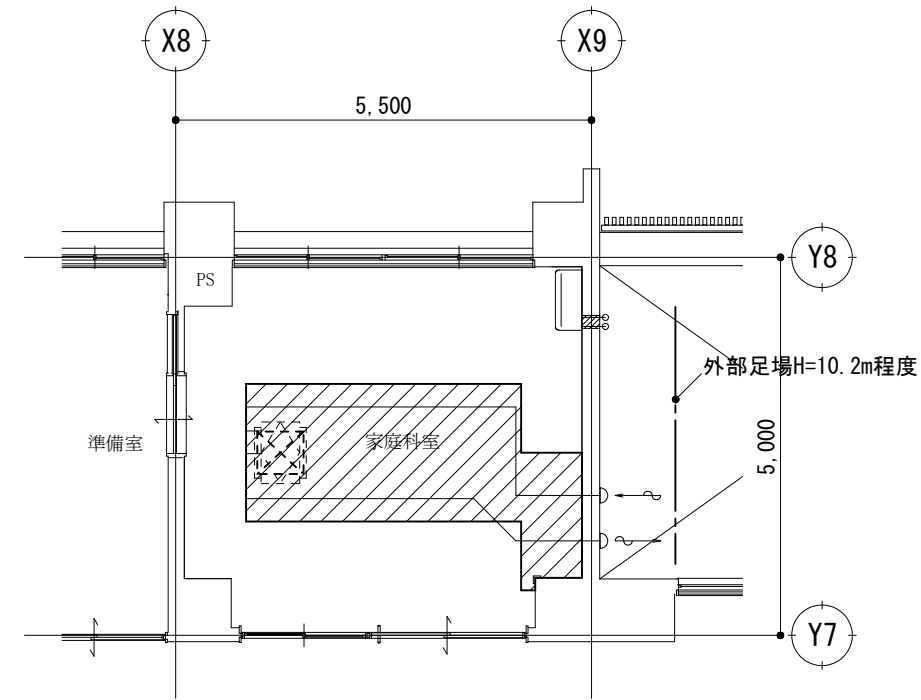
●図面番号 A-10

株式会社 ACE 設計

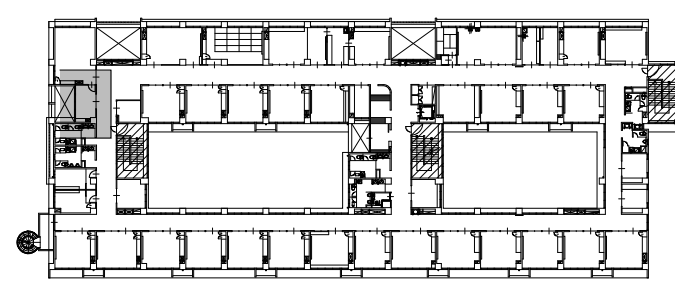
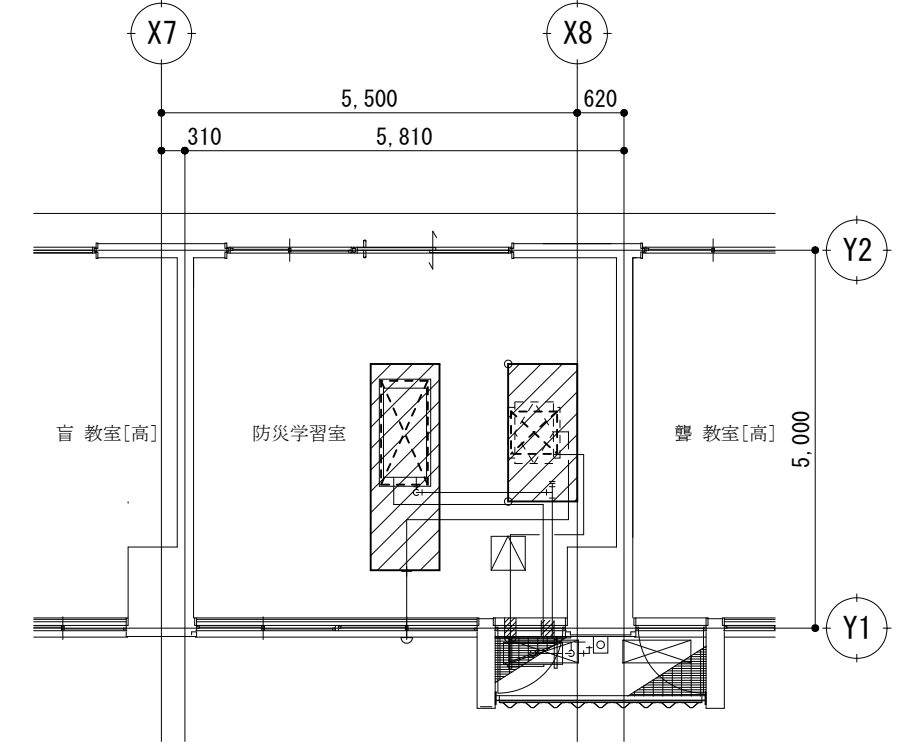
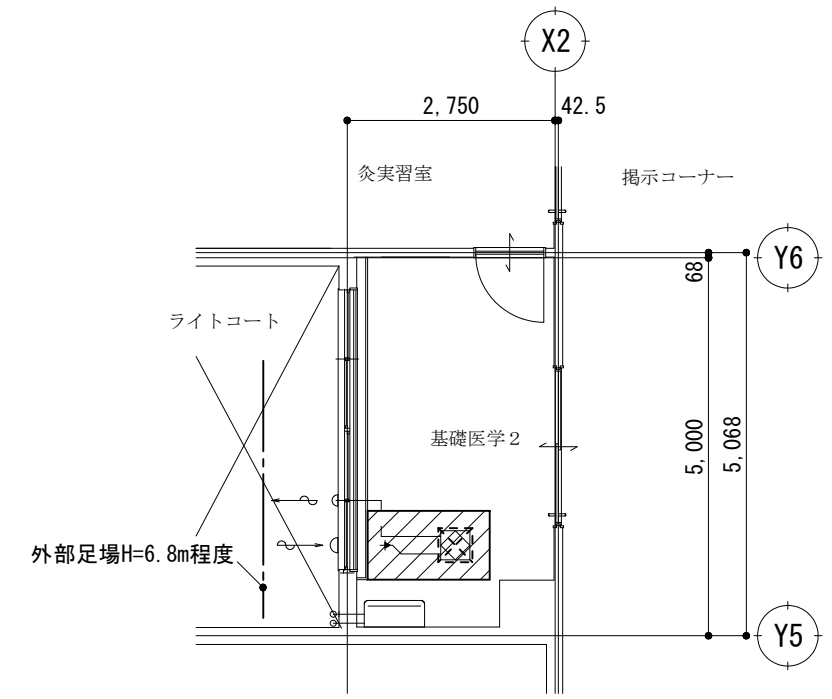
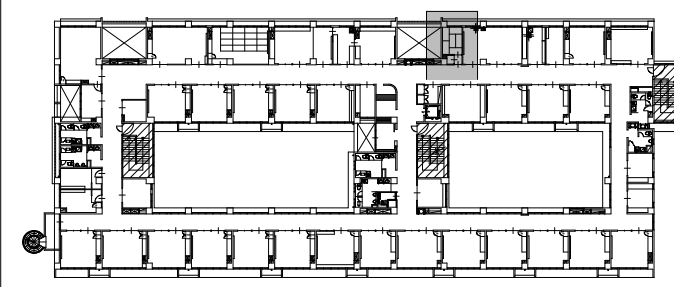
●図面名 (校舎棟)足場位置,天井伏図 1

●縮尺 1/100 (A2), 1/141 (A3)

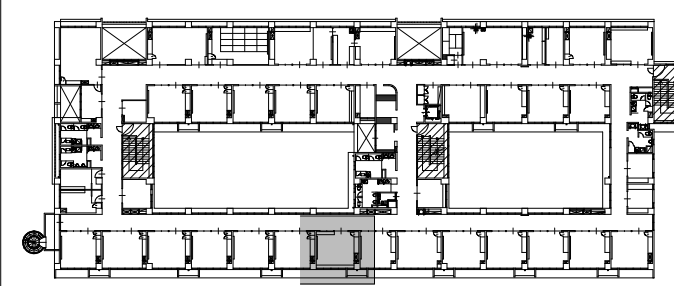
〒770-0044 徳島市庄町1丁目6番地2  
Tel(088)632-1103(代) Fax(088)632-1198



符号	現況・撤去仕上	改修後仕上
	化粧PBt9.5(910×910) LGS19 撤去	化粧PBt9.5(910×910) LGS19 新設
		天井開口補強 新設
	天井改修部分を示す	



符号	現況・撤去仕上	改修後仕上
	化粧PBt9.5(910×910) LGS19 撤去	化粧PBt9.5(910×910) LGS19 新設
		天井開口補強 新設
	天井改修部分を示す	



符号	現況・撤去仕上	改修後仕上
	化粧PBt9.5(910×910) LGS19 撤去	化粧PBt9.5(910×910) LGS19 新設
		天井開口補強 新設
	天井改修部分を示す	